

公益財団法人せたがや文化財団における令和8年度事業について

1. 事業計画

| 世田谷文化生活情報センター / 生活工房 | | 世田谷文化生活情報センター / 音楽事業部 | |
|---|------------------|---|-----------------------------|
| 三角コーン展(仮) | 9月8日～9月23日 | シリーズ和・華・調 | 5月30日 |
| 草間京平とガリ版文化展(仮) | 11月11日～12月6日 | せたがや音楽研究所 | 9月5日 |
| (常設展示)生活工房アレコレ | 通年 | ミュージック・ラウンジ | 5月15日 7月17日 令和9年1月31日 |
| (常設展示)「ギャラリーリニューアルプロジェクト」 | 通年 | せたがやジュニアオーケストラ | 通年 |
| 「対話の効能(わたし)と(あなた)のあわいvol.3 日常を見限らない「視覚」のワークショップ | | せたがやまちなか・まちなかコンサート、連携コンサートほか | |
| 世田谷文化生活情報センター / 世田谷パブリックシアター | | | |
| 瀬戸山美咲演出 『コーカサスの白墨の輪』地方ツアー | 4～5月 | 日英共同制作『LIFE』 | 未定 |
| 芸術監督企画 『レディエント・バーミン』 | 6～8月 | 海外招聘ダンス 闘劇場 『扮仙(パンシアン)／オープニングセレモニー』 | 令和9年2月 |
| 生田みゆき演出作品 『雨月物語』(仮題) | 8月 | フリーステージ(音楽部門・ダンス部門・世田谷クラシックバレエ連盟)、移動劇場「あっとホーム公演」、学校のためのワークショップ、せたがやアートファーム2026『せたがや夏いちらくご』・ラルンベ・ダンス『ステージ・オン・ザ・ロード』・アガサ&アドリアン『N.Ormes／ノ. ルムズ』(仮) | |
| 稲葉賀恵演出作品 『イエルマ』 | 9～10月 | | |
| 芸術監督企画 『ヨハンナ』(仮題) | 11～12月 2～3月 | | |
| 世田谷文化生活情報センター / 国際事業部 | | | |
| せたがや国際交流センターの運営 | 通年 | 多文化理解講座 | 9回 |
| まち歩き | 11月(1回) | 外国人のための日本語教室 | 5期(各18回) |
| にほんご交流会 | 5回 | せたがや日本語サポーター講座 | 2期(各5回) |
| 世田谷美術館 | | 世田谷文学館 | |
| 田中信太郎—意味から遠く離れて | 4月25日～6月28日 | シーズン展示「本が世界、世界が本。」 —松岡正剛 千夜千冊の贈りもの— | 4月18日～6月14日 |
| ふだりのアブリカ、芋仕事の学宙—人類学者川田順造・陶芸作家小川待子コレクション | 7月11日～9月6日 | やなせたかし展 人生はよろこばせごっこ | 6月30日～9月6日 |
| スウェーデン・テキスタイル—暮らしと自然に息づく北欧デザイン | 9月19日～11月15日 | ヤマザキマリ展(仮称) | 10月3日～令和8年2月7日 |
| 銅版画家・駒井哲郎—掌状にひろがる星座のように | 11月28日～令和8年1月31日 | 岩井俊二展(仮称) | 令和8年3月6日～(5月9日) |
| 生命の惑星 セタビの森のわたしたち | 令和8年2月13日～3月31日 | 前期コレクション展 没後30年 宇野千代展—恋と創作の若き日々— | 4月18日～9月6日 |
| 本館ミュージアム コレクション(前年度からの継続含め年3回)、各分館収蔵品展(年2回) | 通年 | 後期コレクション展 没後30年 宇野千代展—わたしと生きて行く私— | 9月26日～令和8年3月28日 |
| 講座・ワークショップ、鑑賞教室ほか | | ライブラリー「ほんとう」の運営 「ほんとうラジオ」放送(エフエム世田谷) | 通年 |
| | | どこでも文学館(出張展示、ワークショップなどの教育普及事業) | 通年 |
| | | ワークショップ、トークイベント、オンラインイベントほか | |

※事業名称及び開催日程は最新の情報を掲載しているため、事業計画書の内容と異なる場合があります。

2 収支予算内訳表(損益計算書ベース)

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位:円)

| 科 目 | 公益目的事業会計 | | | 収益事業等会計 | | | 法人会計 | 内部取引 等消去 | 合計 |
|----------------------------|---|---------------------------|---------------|-------------|------------|-------------|--------------|-------------|---------------|
| | 公1 | 公2 | 小計 | 収1 | 収2 | 小計 | | | |
| | 文化芸術の振興、 地域文化創造活動 の支援及び教育普 及に関する事業 | 市民活動の支援 及び 振興に関する事業 | | 物品販売事業 | 飲食物提供事業 | | | | |
| I 一般正味財産の部 | | | | | | | | | |
| 1 経常増減の部 | | | | | | | | | |
| (1) 経常収益 | | | | | | | | | |
| 基本財産運用益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4,001,000 | | 4,001,000 |
| 特定資産運用益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,272,000 | | 1,272,000 |
| 事業収益 | 1,506,052,000 | 647,000 | 1,506,699,000 | 44,785,000 | 3,127,000 | 47,912,000 | 0 | | 1,554,611,000 |
| 受取区補助金 | 1,480,125,000 | 43,977,000 | 1,524,102,000 | 0 | 0 | 0 | 145,741,000 | | 1,669,843,000 |
| 受取助成金等 | 181,647,000 | 1,289,000 | 182,936,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 182,936,000 |
| 受取寄附金等 | 925,000 | 0 | 925,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 925,000 |
| 受取負担金 | 6,191,000 | 0 | 6,191,000 | 336,000 | 7,500,000 | 7,836,000 | 0 | | 14,027,000 |
| 雑収益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 895,000 | | 895,000 |
| 経常収益計(A) | 3,174,940,000 | 45,913,000 | 3,220,853,000 | 45,121,000 | 10,627,000 | 55,748,000 | 151,909,000 | | 3,428,510,000 |
| (2) 経常費用 | | | | | | | | | |
| 事業費 | 3,221,566,000 | 46,953,000 | 3,268,519,000 | 43,741,000 | 8,508,000 | 52,249,000 | 0 | | 3,320,768,000 |
| 管理費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 159,006,000 | | 159,006,000 |
| 経常費用計(B) | 3,221,566,000 | 46,953,000 | 3,268,519,000 | 43,741,000 | 8,508,000 | 52,249,000 | 159,006,000 | | 3,479,774,000 |
| 他会計振替前当期一般正味財産増減額(C) | △ 46,626,000 | △ 1,040,000 | △ 47,666,000 | 1,380,000 | 2,119,000 | 3,499,000 | △ 7,097,000 | | △ 51,264,000 |
| 他会計振替額(D) | 498,599 | 0 | 498,599 | △ 196,647 | △ 301,952 | △ 498,599 | 0 | | 0 |
| 法人税、都民税及び事業税(E) | 0 | 0 | 0 | 355,006 | 545,114 | 900,120 | 0 | | 900,120 |
| 当期一般正味財産増減額(F)=(C)+(D)-(E) | △ 46,127,401 | △ 1,040,000 | △ 47,167,401 | 828,347 | 1,271,934 | 2,100,281 | △ 7,097,000 | | △ 52,164,120 |
| 一般正味財産期首残高(G) | 634,836,808 | 27,911,876 | 662,748,684 | 160,851,720 | 18,428,311 | 179,280,031 | △ 21,904,579 | | 820,124,136 |
| 一般正味財産期末残高(H)=(F)+(G) | 588,709,407 | 26,871,876 | 615,581,283 | 161,680,067 | 19,700,245 | 181,380,312 | △ 29,001,579 | | 767,960,016 |
| II 指定正味財産の部 | | | | | | | | | |
| 当期指定正味財産増減額(I) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 |
| 指定正味財産期首残高(J) | 10,253,731 | 0 | 10,253,731 | 0 | 0 | 0 | 800,000,000 | | 810,253,731 |
| 指定正味財産期末残高(K)=(I)+(J) | 10,253,731 | 0 | 10,253,731 | 0 | 0 | 0 | 800,000,000 | | 810,253,731 |
| III 正味財産期末残高(L)=(H)+(K) | 598,963,138 | 26,871,876 | 625,835,014 | 161,680,067 | 19,700,245 | 181,380,312 | 770,998,421 | | 1,578,213,747 |

令和 8 年度

公益財団法人せたがや文化財団

事業計画書

収支予算書

その他の付属書類

公益財団法人 せたがや文化財団

目 次

(事業計画書)

| | |
|-------------------------------|----|
| 1. 令和8年度事業方針 | 1 |
| 2. 事業の体系 | 6 |
| 3. 事業計画 | |
| (1) 世田谷文化生活情報センター生活工房 | 16 |
| (2) 世田谷文化生活情報センター世田谷パブリックシアター | 19 |
| (3) 世田谷文化生活情報センター音楽事業部(せたおん) | 26 |
| (4) 世田谷文化生活情報センター国際事業部 | 28 |
| (5) 世田谷美術館 | 30 |
| (6) 世田谷文学館 | 35 |
| (7) 財団共通 | 38 |

(収支予算書)

| | |
|----------------------|----|
| 1. 収支予算(損益計算書ベース) | 42 |
| 2. 収支予算内訳表(損益計算書ベース) | 44 |

(その他の付属書類)

| | |
|-----------------------|----|
| 資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類 | 51 |
|-----------------------|----|

事業計画書

1. 令和8年度事業方針

人件費の上昇、物価や運送費の高騰、円安等の影響を受ける一方で、パブリックシアターの休館に伴う事業実施方法の変更などを主な要因として、せたがや文化財団の令和8年度収支予算につきましては、経常収益が前年度比約4.4%（約1億5千6百万円）の減、また、経常費用が前年度比約4.9%（約1億7千9百万円）の減となっています。

令和8年度は第5期指定管理の最終年度で、集大成の年度となります。一方で、世田谷区役所本庁舎改築工事に伴い区民利用・交流拠点施設が開設されることから、生活工房の市民活動支援コーナーが令和7年度末をもって廃止となります。令和8年度は、生活工房ギャラリーもキャロットタワー3階から2階に移転する工事のため、休館いたします。また、世田谷パブリックシアター主劇場も天井改修工事のため休館するなど、財団の各施設において事業運営上大きな影響が出る年度でもあります。これらの施設が工事後に、事業を円滑に実施できるよう、工事期間中であっても万全の準備を行います。

せたがや文化財団は3館6つのジャンルを主軸に枠組みを超えた独創的な文化・芸術活動を行っているというスケールメリットを活かし、各館各部が相互に連携して様々な事業に取り組み、事業に世田谷らしい幅と深みを出してまいります。

また、せたがや文化財団人材活用計画を令和7年度に改訂いたしました。世田谷区外郭団体将来ビジョンにおいて、当財団はより経営の自主性・自立性を高めることが求められております。特に、区派遣職員の適正化が示されており、人材活用計画に基づき、これまで以上に職員の人材育成に取り組みます。また、女性活躍推進法及び次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画を改訂し、引き続き誰もが働きやすい職場づくりを進め、職員の能力を最大限発揮できるよう取り組みます。

制作費を圧迫する諸物価の高騰や人手不足など、財団を取り巻く状況は厳しさを増しておりますが、工夫を凝らしながら質の高い文化・芸術事業を区民に提供し、「世田谷区第4期文化・芸術振興計画」の将来像である、「誰もが文化・芸術を楽しめるまち 世田谷」を実現するという社会的役割を果たしてまいります。

《世田谷文化生活情報センター》

世田谷文化生活情報センターは、三軒茶屋キャロットタワー内にある創造的な文化拠点です。「生活工房」「世田谷パブリックシアター・シアタートラム」「音楽事業部」「国際事業部」の4部門で構成され、生活デザインの提案、演劇・ダンスなど舞台芸術の創造そして提供、良質な音楽の提供とせたがやジュニアオーケストラの育成、外国人支援や多文化交流を展開しています。令和8年度には開館29周年を迎え、地域との協働や専門家との連携を重視し、公演・展示・教育普及など多彩な事業を推進していきます。世田谷美術館や世田谷文学館との連携、また区の施策と連動しながら、多文化共生を進め、区民の文化向上に寄与する創造的な文化施設として運営します。

○生活工房

施設の維持管理を適切に行い、利用者に快適にご利用いただける環境づくりに努め、業務の効率化と利用者サービス向上を図ります。暮らしに身近な文化施設として、デザインやアート、生活文化をテーマに、様々な人たちが文化・芸術に親しみ、交流・対話する場となる事業を实

施します。

生活工房ギャラリーは、3階から2階への移転工事のため1年間閉鎖となりますが、4階ワークショップルームにおいて、街なかで見かける三角コーンの観察から日常を探検する楽しさを伝える「三角コーン展」(仮)、民主的メディアとして普及したガリ版とそのキーパーソンであり、世田谷区にゆかりのある草間京平を取り上げ、現在の Zine にも通じる自作印刷文化の歴史を展望する「草間京平とガリ版文化展」(仮)を開催します。

また、五感を使って日常の見落とされた出来事を再発見するワークショップ「日常を見限らない」(vol.6「視覚」のワークショップ)や、国際事業部と連携して世界の食文化を学び味わうワークショップ等、生活工房ならではの企画を開催します。

夏休み期間には、「せたがやアートファーム」の一環として造形活動体験ワークショップや、地域で活動するおはなしの会と共催する「おはなしいっぱい」を実施し、子どもの創造性を育む体験の場を提供します。

市民活動支援事業では、長く活動場所を提供してきた市民活動支援コーナーに代わる場づくりとして、旧メディア工房スペースを活用したメディア事業「メディアラボ(仮)」に取り組みます。区民の記録や区内市民活動団体の活動記録や地域の歴史をアーカイブ化し、ネットワークを広げる活動を支援します。既存の穴アーカイブ事業に加え、コロナ禍の生活での体験を広く収集して記録し、次世代につなぐためのプロジェクト「インタビューシート コロナ禍のこと」をせんだいメディアテークと協働します。併せて、散逸の危機にある区内市民活動団体の活動記録や地域の歴史、個人の記録を保存し、ネットワークを広げる活動を支援する事業の実施に向けた検討を進めます。また、防災をテーマとした市民活動の意義を考える事業も実施します。

施設全体を有効に活用し、教育機関や企業、「世田谷パン祭り」等の地域の活動とも連携しながら、多くの方が文化・芸術に触れる機会を広げます。ホームページや情報誌で事業を広報するとともに、動画配信コンテンツの一層の充実も図り、積極的な情報発信に取り組みます。

○世田谷パブリックシアター

令和8年度は、主劇場が1年間休館となることを踏まえ、海外での事業展開の拡充や外部会場の活用などにより、劇場のミッションを着実に遂行していきます。劇場のそれぞれの事業分野においては、以下に重点を置いて事業を展開します。

公演事業では、白井晃芸術監督の演出作品を年間の大きな柱としつつ、若手や中堅の演出家を積極的に起用し、優れた舞台芸術作品の創造発信とともにアーティストの育成に力を入れていきます。さらに、地方へのツアー公演を積極的に実施し、成果を広く共有していきます。

また、障害者差別解消法の改正以来、必要性が高まっているアクセシビリティ向上への取り組みとして、日本語字幕付き上演や音声ガイドなどのバリアフリー対応や多言語対応を積極的に進めるとともに、各種割引制度を通じて観劇のハードルを低くする努力を続けます。

さらに、採択を受けている文化庁の「文化施設による高付加価値化機能強化支援事業」補助金も活用し、海外での上演・ネットワーク形成を最終的な目標とする若手アーティスト育成事業を実施するとともに、海外のアーティストや団体との共同作業を進めます。海外からの招聘公演もさらに充実させ、劇場が世界への窓となるよう努めます。

夏休み時期には、「せたがやアートファーム」を引き続き実施します。生活工房、音楽事業部と連携して実施する事業もプログラムに加え、海外からの招聘公演や親子で楽しめる落語公演、多彩なワークショップなど、誰もが自分のお気に入りを見つけられる多彩なメニューを取り

揃えた「アートの農園」となることを目指します。

学芸事業においては、劇場に来ることが難しい方々に演劇を届ける移動劇場「あっとホーム公演」、区内文化団体の皆様に劇場で成果を発表いただく「フリーステージ」、三軒茶屋の秋の恒例行事となっている「三茶 de 大道芸」など、地域における文化活動の拠点としての劇場の存在感を発揮する事業を幅広く展開します。

また、開場以来培ってきたノウハウを最大限に活用した演劇ワークショップを、劇場や区内小中学校などで多彩に展開するとともに、演劇やダンスの楽しみ方や取り組み方を提案する様々な観客・専門家の育成プログラムを実施し、舞台芸術が生活の中に息づく環境整備に取り組みます。

劇場は、舞台芸術に触れ、その楽しみ方や実践について学ぶ場であると同時に、他者と出会い、共に生きていく方法を試し、身に着けていく場でもあります。多様なプログラムの展開により、公共劇場の役割を積極的に果たし、拡大していきます。

○音楽事業部(せたおん)

せたおん設立20年目の年を迎えます。専用ホールはないままですが、シリーズ化することで、区民の皆様に着定してきた事業も増えました。

内外で活躍する本格的なクラシック音楽家による「室内楽シリーズ」、日本の伝統音楽を紹介していく「シリーズ和・華・調」、仕事帰りにリラックスして楽しんでもらう「ミュージック・ラウンジ」、そして、池辺晋一郎音楽監督が様々な分野の専門家とのトークを進める「異分野とのコラボレーション」といった、おなじみの事業は楽しみに待っている聴衆も少なくありません。こうした事業をさらに充実させていきます。

開館3年、“せたがやイーグレットホール”の愛称がついて1年の、世田谷区民会館を区民に浸透させていくのも重要な役割です。世田谷区との共催で、会場の特性を活かした企画を行っています。せたおんスペシャル・プロデューサー宮川彬良と、定番となっている「せたがや音楽研究所」、井上鑑率いる世田谷スーパー・バンドが待望の再登場をする「世田谷アーティスト支援企画 Discovery Setagaya Sounds」、湯川れい子プロデュースで公募の区民コーラスも加わる「区民参加プログラム Setagaya Voice Fes」と、充実のラインナップが並びます。加えて、選りすぐりの音楽を気軽に親しむ公演「せたおんプレゼンツ」を始めるほか、入場無料で楽しめる「まちなかコンサート」のうちの1公演も実施します。

せたおんの活動の軸である「せたがやジュニアオーケストラ(SJO)」は、せたがやイーグレットホールがホームグラウンド。新進気鋭の指揮者・米田覚士と共に、楽器体験コーナーもあり、子どもたちにも親しみやすい「オータムコンサート」、1年の締めくくり「定期演奏会」の2公演を開催します。また、SJO は世田谷区が文化交流を進める台湾・高雄市へ演奏旅行に出かけ、KSO 高雄市青少年交響楽団との「交流イベント」にも臨みます。

世田谷区とは密接な関係を持って、事業を受託し、運営していきます。商店街や地域のイベントでは「Setagaya Arts Place」、せたがやイーグレットホールの公共空間では「ラウンジ・コンサート」と、区の事業を通じて地域にアーティストを派遣していきます。さらに、世田谷アーティストの登録制度である「世田谷アーティストバンク(音楽演奏部門)」事業の事務局を担います。

二十歳になるせたおん。内容はもちろん、募集や販売方法などにも工夫を凝らし、より広く、より近く、そしてより深く、世田谷区民に音楽の力を届けていきます。

○国際事業部

せたがや国際交流センター(クロッシングせたがや)の運営では、世田谷区第二次多文化共生プランに基づいて、在住外国人からの相談に、有益な情報の提供と最適な相談機関の紹介、必要に応じたサポートを行います。

東京都の相談機関や区内の関連施設との協力・連携を強めると同時に、国際交流活動団体間とのネットワークを拡充して、情報共有と専門的な相談にも対応できる体制づくりを進めます。また、地域の活動団体や大学と連携した国際交流、多文化共生のイベントや企画展を開催、せたがや国際交流センター内でも外国人スタッフによる交流イベントを充実させることで、区民と一緒に交流する機会を提案していきます。

「多文化理解講座」では、在住外国人の地域活動への参加促進の一環として、外国人を対象に「生け花」や「茶道」の日本の伝統文化を体験する事業や、世界諸国の「食文化」を体感することで多様性・多文化理解を深めるシリーズ企画、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）と共催による「難民支援パートナーズ映画祭」、子ども企画「子ども大使～カナダ大使館への訪問」、姉妹都市からの小中学生派遣訪問団との交流ワークショップなどを実施。多様なプログラムで多文化共生事業の充実を図ります。

引き続き、地域日本語教育の推進として「外国人のための日本語教室」と「せたがや日本語サポーター講座」を実施します。日本語を学ぶ外国人と日本語でサポートする日本人が、お互いに交流する機会を創出する「にほんご交流会」や「まち歩き」の事業も好評につき実施していきます。また、外国人に伝わりやすい表現を習得する「やさしい日本語ワークショップ」は年2回開催し、より多くの方々への理解を拡げていきます。

令和9年4月、三軒茶屋駅周辺における公共施設の再配置に伴い、せたがや国際交流センターは太子堂複合施設へ移転します。令和8年度は、新たなセンターの開館に向けた事業の検討をはじめ、様々な準備に取り組んでいきます。

これからも多文化共生に関する交流や情報発信の拠点として、在住外国人、区民のみなさんに親しんでいただけるような活動に努めてまいります。

《世田谷美術館》

企画展では、現代美術から、テキスタイルデザインまで幅広い分野のアートを紹介します。「田中信太郎——意味から遠く離れて」は、ネオ・ダダイズム・オルガナイザーズの一員として表現活動を始め、1960年代以降の日本の美術において重要な作家の一人となる世田谷ゆかりの作家、田中信太郎(1940-2019)の回顧展です。田中は、ミニマルアートの作品など、ヴェネツィア・ビエンナーレほか、多数の海外展に出品した作家ですが、これまで田中の業績を振り返る機会は少なく、本展ではアトリエに残された作品を中心に、田中が作り出そうとした世界を再確認します。「ふたりのアフリカ、手仕事の宇宙——川田順造・小川待子コレクション」は、アフリカ・ヨーロッパ・日本という3つの視座「文化の三角測量」から複眼的に文化を理解する道をひらいた人類学者・川田順造(1934-2024)と、その妻で川田と共に西アフリカに暮らし、調査も行うなかで独自の作品制作原理を見出した陶芸家・小川待子(1946-)夫妻の世界を紹介します。夫妻が1970年前後から集め、その後自宅で大切に保管、あるいは日々使っている瓢箪のうつわや編みかご、染織などのほか、川田がフィールドで撮った記録写真も展示します。「スウェーデン・テキスタイル——暮らしと自然に息づく北欧デザイン」は、日本で初めての試みとしてスウェーデンのテキスタイルデザインにスポットをあて、スウェーデンの個人コレクションを

中心に、専門美術館やアーカイブの協力を得ながら、魅力的なテキスタイルデザインの数々を紹介しします。没後50年を記念して開催する「没後50年 銅版画家・駒井哲郎——掌上にひろがる星座のように」では、世田谷ゆかりの版画家の詩情あふれる版画作品を、当館所蔵の「福原コレクション」や遺族のもとに残る初期の油彩、挿絵原画のほか、作家旧蔵の他作家による版画作品などにより、駒井の初期から晩年までの軌跡を辿ります。そして、世田谷美術館コレクション選「セタビの森のわたしたち」は、動物、植物に続く「セタビの森シリーズ」第3弾として、当館のコレクションから、古今東西、様々な手法で表現されたいろいろな人物の作品を一同に展示しします。学校連携の作品展示や来場者が参加できる参加コーナー、また併せて関連ワークショップやパフォーマンスなども開催します。

その他、武蔵野をテーマにした作品や、近年収蔵した作品を紹介するコレクション展や、分館3館での各2本の展覧会を開催します。普及事業では、「美術大学」の実施やボランティアなどと協働して美術鑑賞教室や100円ワークショップ等を行うほか、区民ギャラリーの貸出しや世田谷区民展など区民の表現の場を提供、支援します。友の会と協働編集のニュースレターの発行やホームページや SNS 等で継続的に魅力ある情報を発信し、幅広くアートに親しんでいただけの機会を広げます。

《世田谷文学館》

昨年度開館30周年を迎えた世田谷文学館は、これまでの歩みを礎に、新たな挑戦へと踏み出します。企画展はシーズン展示「本が世界、世界が本—松岡正剛 千夜千冊の贈りもの—」「やなせたかし展 人生はよろこばせごっこ」「ヤマザキマリ展(仮称)」「岩井俊二展(仮称)」を開催します。

シーズン展示「本が世界、世界が本—松岡正剛 千夜千冊の贈りもの—」は、「編集工学」を確立し、世田谷を拠点に活躍した知の巨人・松岡が記した1,800冊を超える壮大なスケールのブックナビゲーションの中から、特に力を入れて語った本をとりあげ、多様な本の読み方・本の向き合い方をご紹介します。「やなせたかし展 人生はよろこばせごっこ」は当館が企画協力に参画し昨年より全国巡回をしてきましたが、いよいよ本企画の集大成として当館で開催します。「ヤマザキマリ展(仮称)」は、漫画家、画家、文筆家として多方面で活躍するヤマザキ氏の、その生き方そのものに基づいた確かな〈ことば〉を当館ならではの展示空間で紹介します。「岩井俊二展(仮称)」は、「Love Letter」をはじめとする幻想的で詩的な映像美で唯一無二の世界観を描いてきた映画監督、初の企画展です。映画制作にとどまらず、音楽・絵画・小説・作詞など、岩井氏の多才な芸術活動にも迫ります。

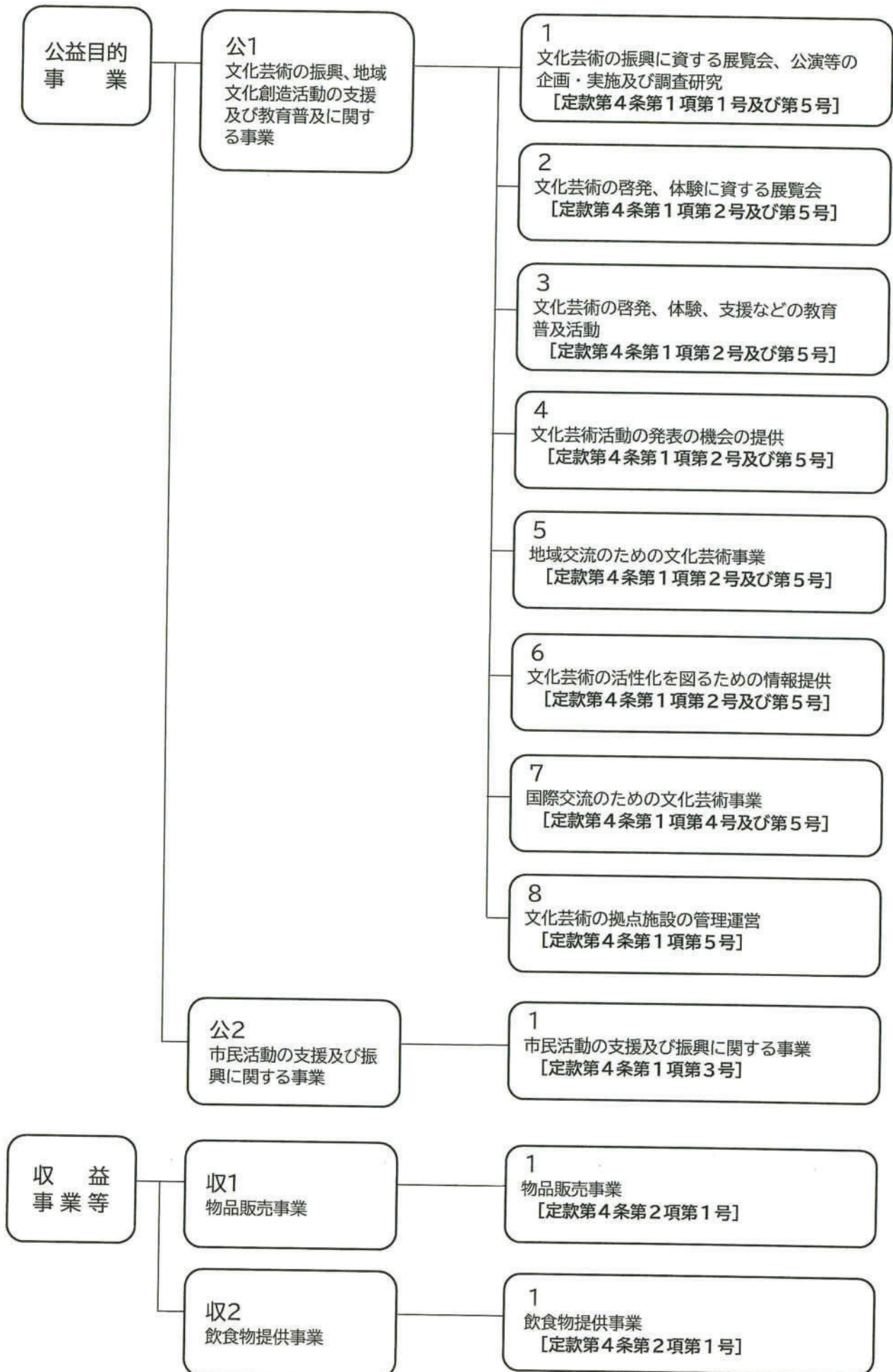
コレクション展は、当館の貴重な収蔵資料である宇野千代コレクションを前期「没後30年 宇野千代展 一恋と創作の若き日々」後期「没後30年 宇野千代展 一わたしと生きて行く私—(仮)」と題し、1年間を通して開催します。また今年度も収蔵資料の調査を進め、「世田谷文学館収蔵資料〈調査と探究〉04」の発行と、「年報」には今年度の調査報告を掲載します。

教育普及活動は、全国展開する出張展示のほか、定評のあるプログラムに加えて今年度は地域に密着したプログラムを開発し、多彩なワークショップを開催します。

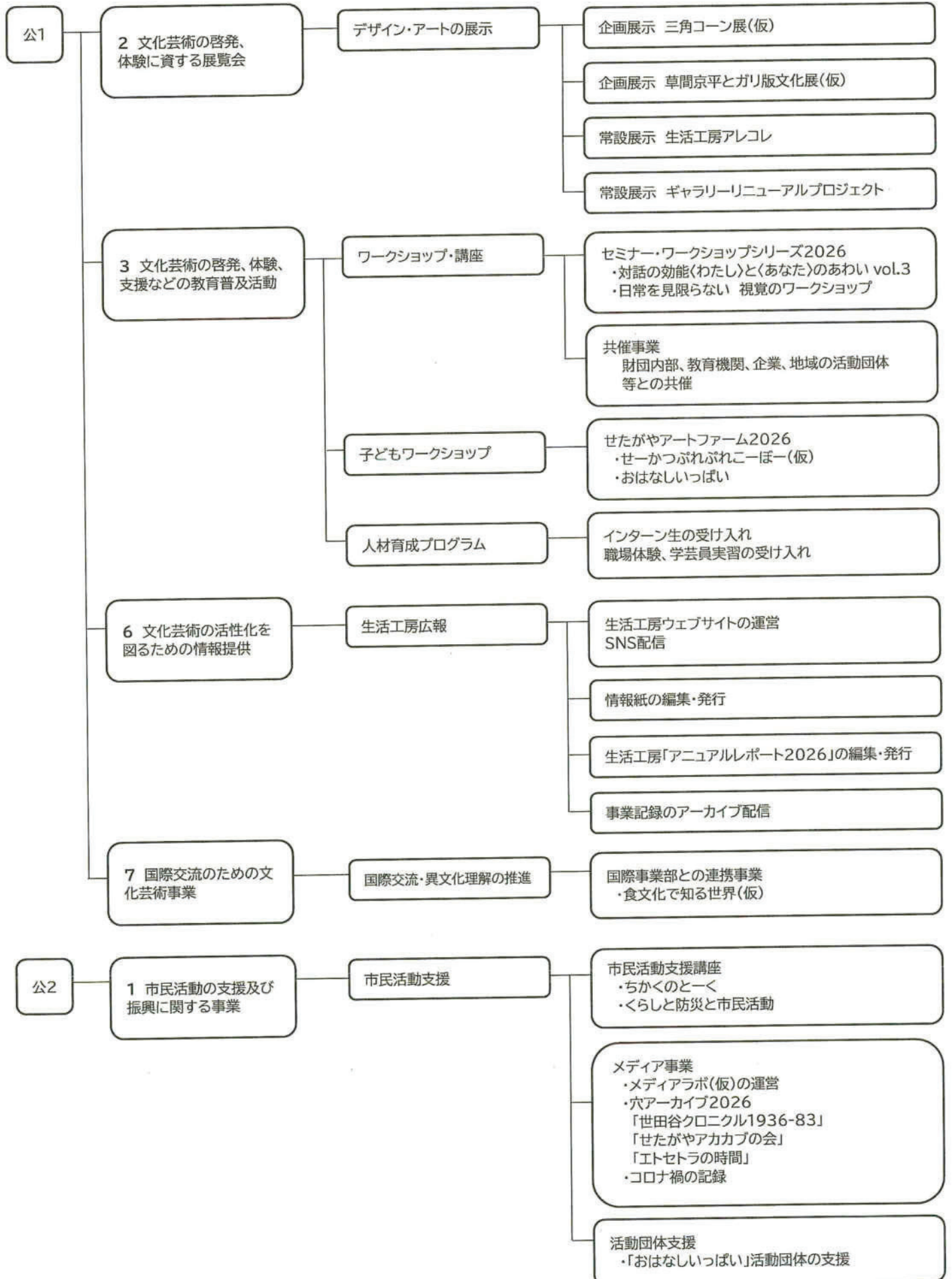
また、区民・利用者の文学活動を支援する「新世田谷文学賞」「文学講座」「セタブンマーケット」など、参加型事業も一層充実させてまいります。

31年目の「セタブン」も今まで以上に、文学の楽しみを存分にお伝えしていきます。

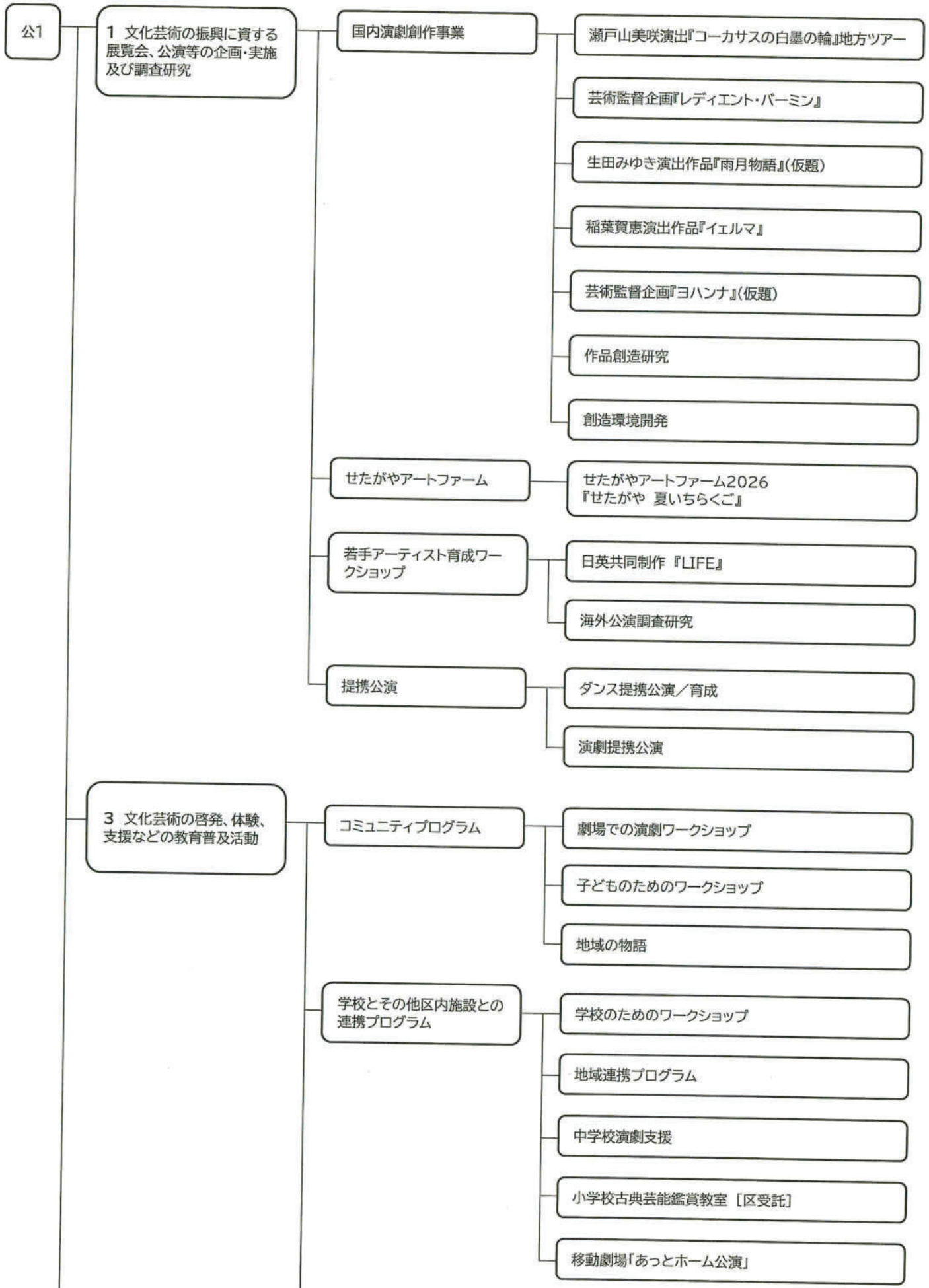
2. 事業の体系

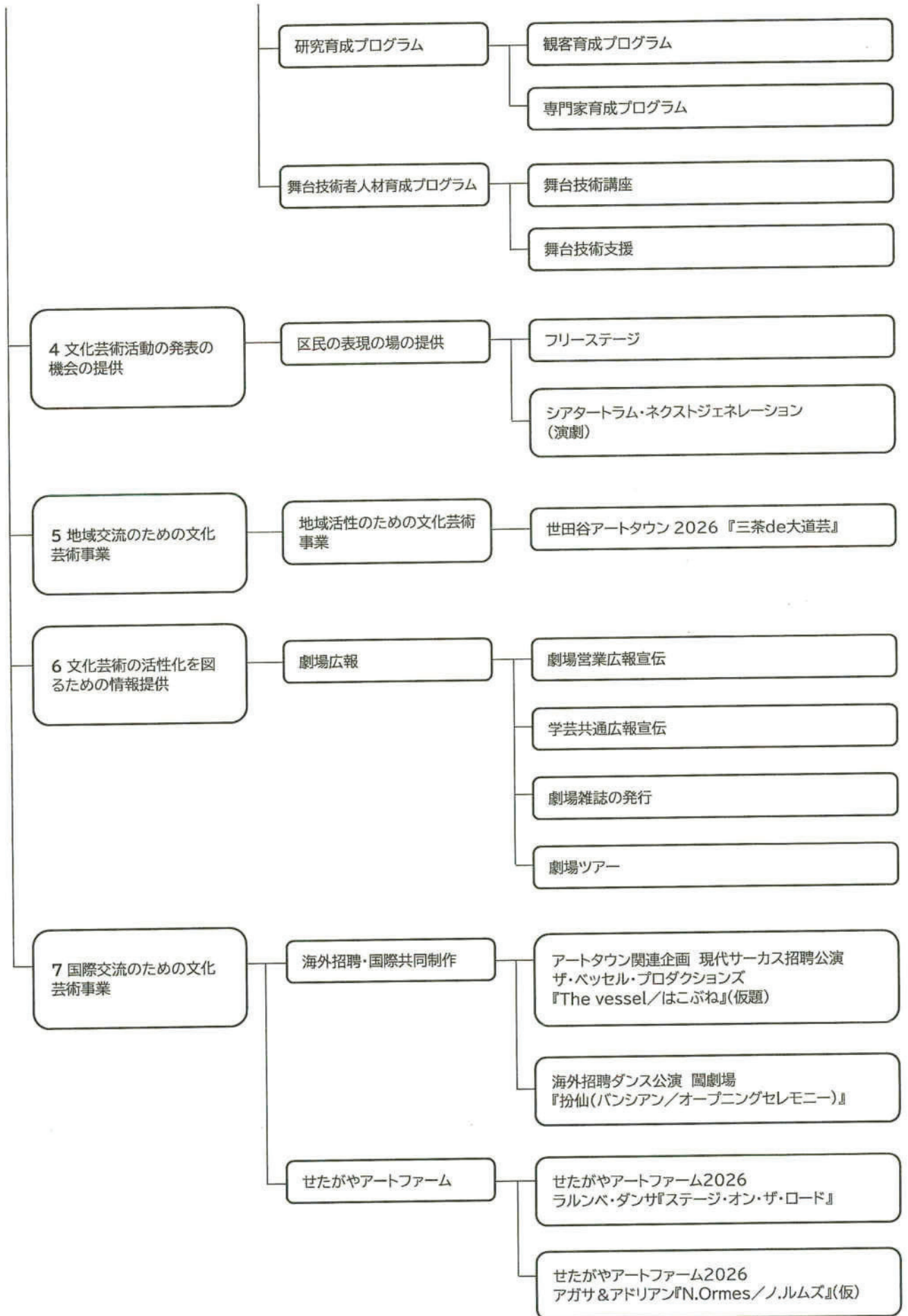


事業の体系 世田谷文化生活情報センター 生活工房

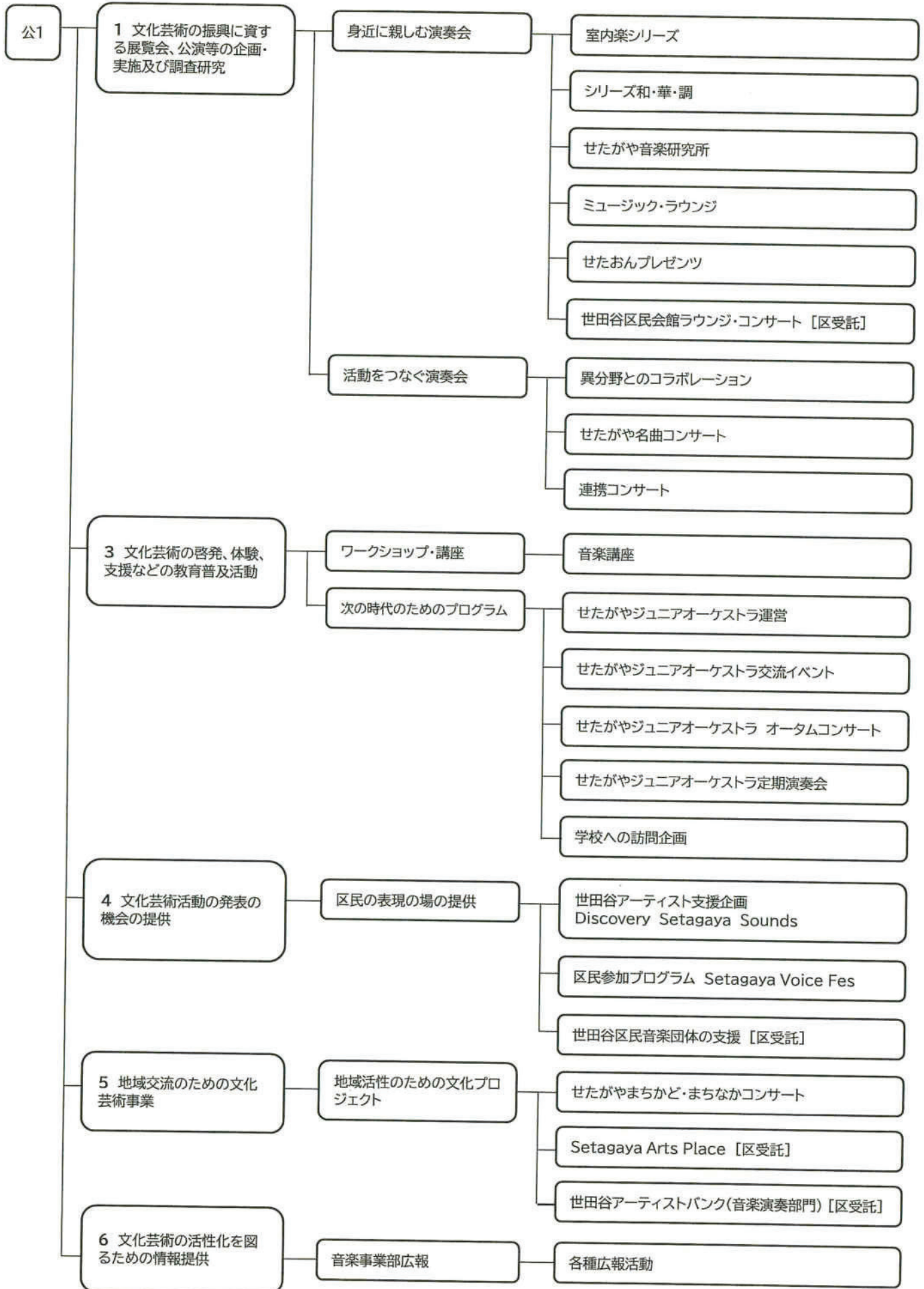


事業の体系 世田谷文化生活情報センター 世田谷パブリックシアター

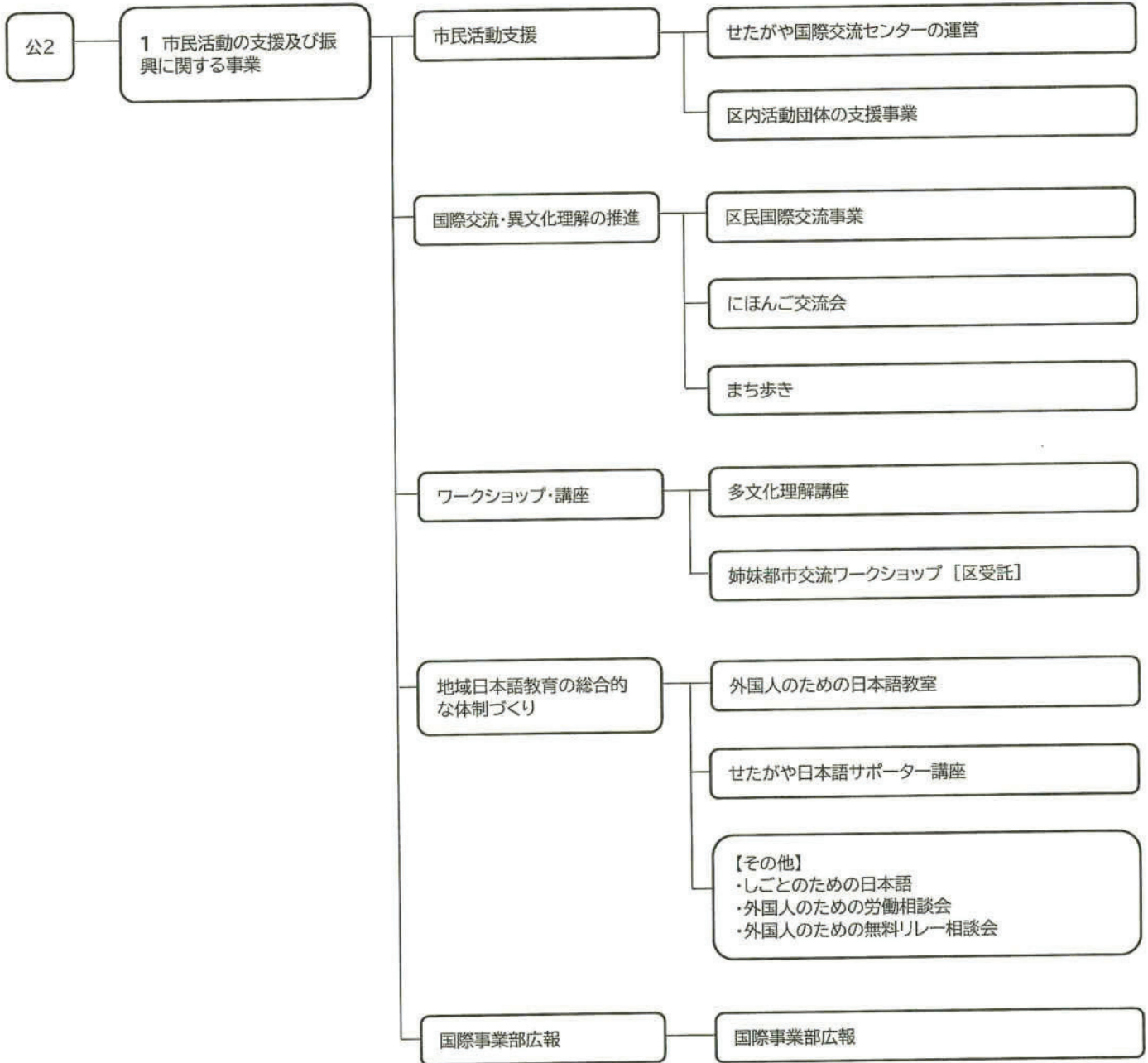




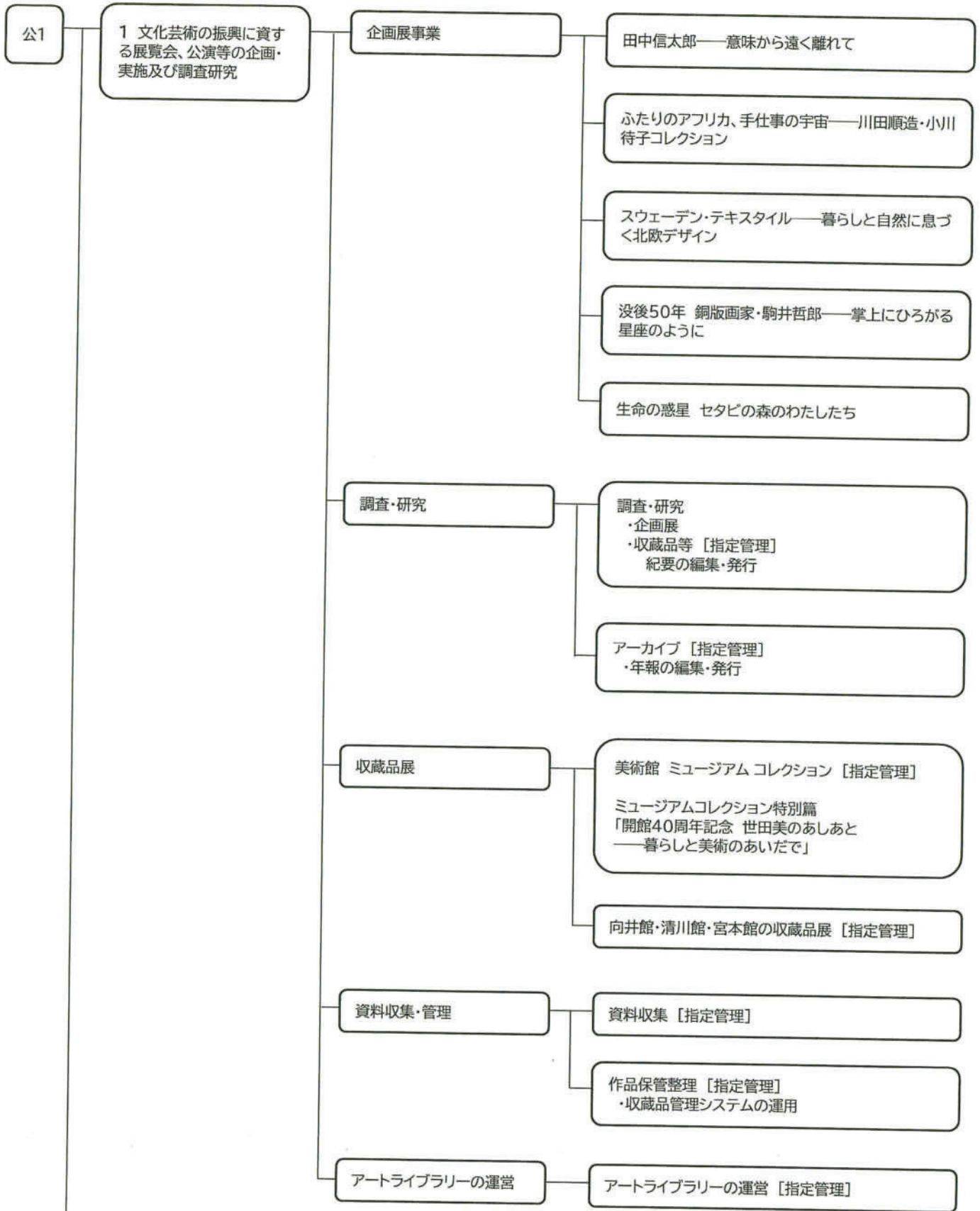
事業の体系 世田谷文化生活情報センター 音楽事業部(せたおん)

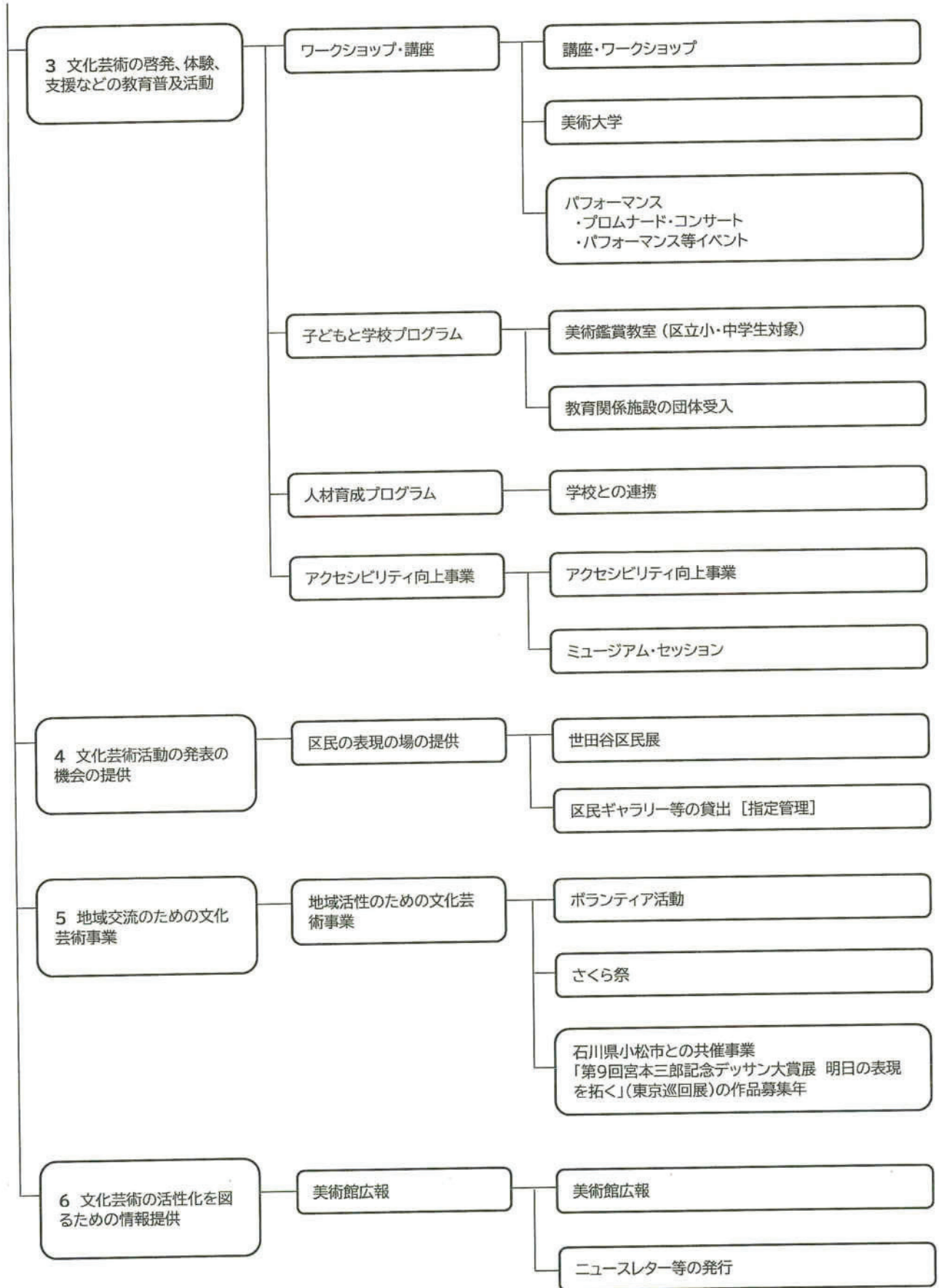


事業の体系 世田谷文化生活情報センター 国際事業部

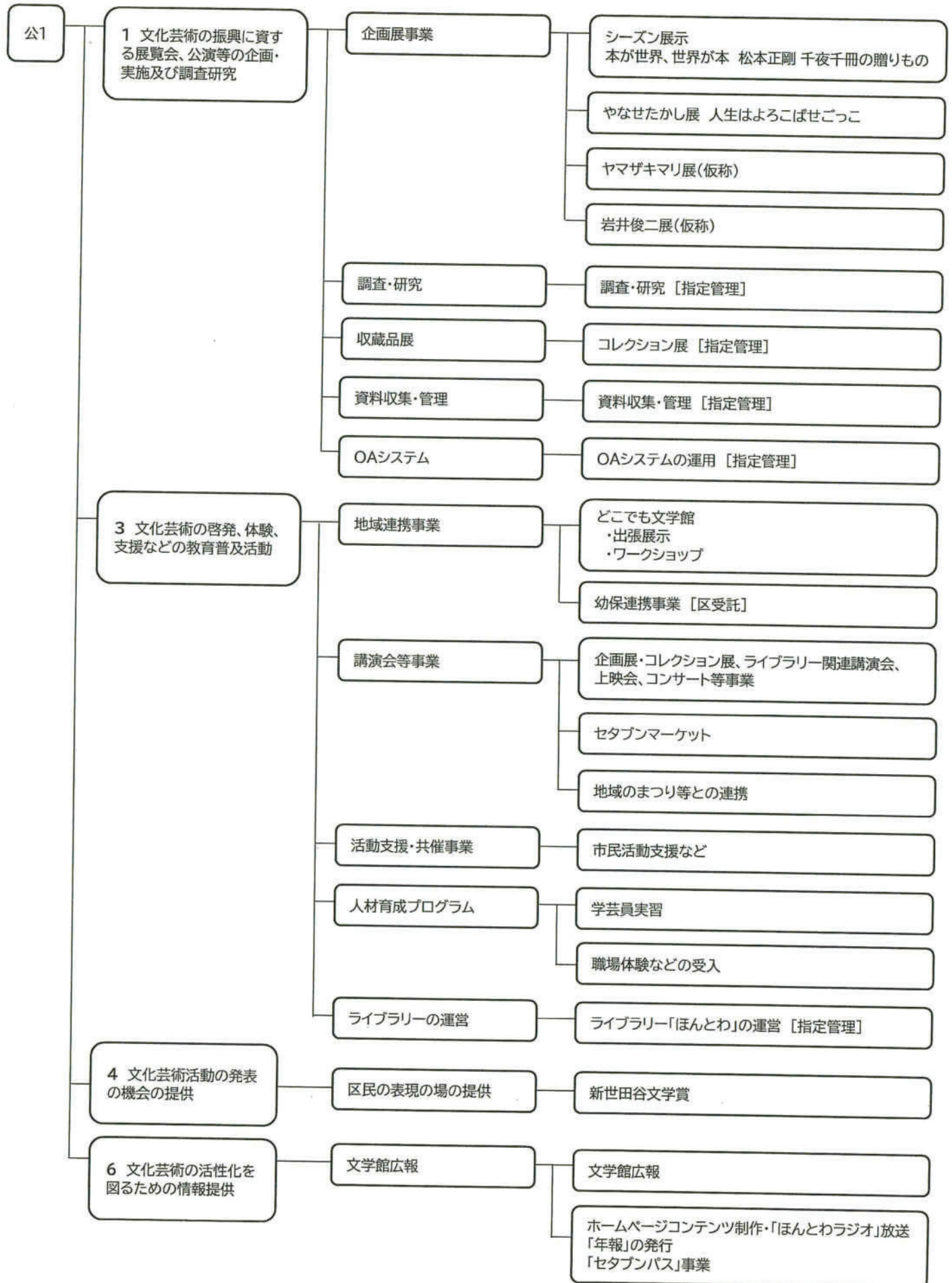


事業の体系 世田谷美術館

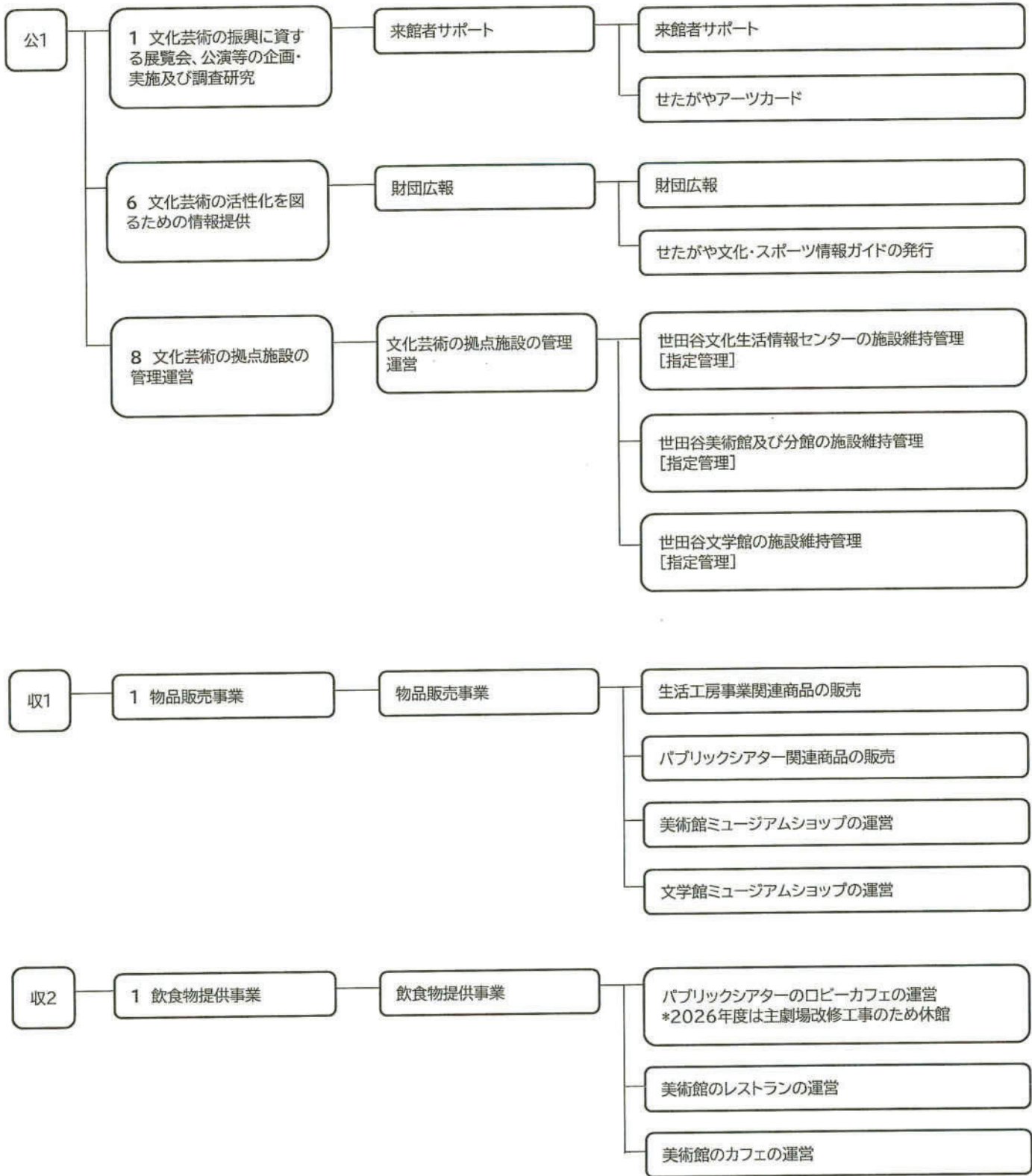




事業の体系 世田谷文学館



事業の体系 財団共通



3. 事業計画

(1)世田谷文化生活情報センター 生活工房

| 事業名 | 個別事業名 | 事業内容 | 計画人数等 | 実施日等 | 実施場所 |
|-------------------|--|--|--------|------------------|------------------|
| デザイン・ アートの展示 | 【生活工房 展覧会事業2026】 | デザイン、生活文化に関する幅広いテーマの展示事業を、生活工房ギャラリーで実施。関連事業として会期中にトークイベントやワークショップも開催。 | 2,000人 | 9月8日～ 9月23日 | ワークショップ ルームほか |
| | 三角コーン展(仮) | よくよく見るとまちの中にたくさんある「三角コーン」。そのプロダクトの魅力を、機能やデザイン性、人との関わりなど様々な角度から深掘りし、三角コーンを通して世田谷のまちと日常を探検することの楽しさを伝える展覧会。 | | | |
| | 草間京平とガリ版文化展(仮) | 明治以降、民主的メディアとして普及したガリ版。その技術を極めた草間京平を、同時代の作家との交流や印刷文化の中に位置づけ紹介する。現代のZine文化にも通じる、草間の実践からガリ版の現在までを展望する。 | 2,000人 | 11月11日～ 12月6日 | ワークショップ ルームほか |
| | 常設展示 | 展覧会やワークショップを記録した映像、資料の公開などを常設で紹介し、来館者が生活工房の活動に親しむ場とする。 | 5,000人 | 通年 | ワークショップ ルームほか |
| | 生活工房アレコレ | 「世田谷クロニクル1936-83」、生活工房YouTubeチャンネル、チラシコレクションやアニュアルレポートなどの印刷物を視聴・閲覧できる展示を常設する。 | | | |
| ギャラリーリニューアルプロジェクト | 生活工房ギャラリーの2階への移転にまつわる空間デザイン、サインデザイン等の工夫やプロセスについて紹介し、新ギャラリーへの関心を喚起する。 | | | | |
| ワークショップ・ 講座 | 【セミナー・ワークショップシリーズ2026】 | 財団内部、教育機関、企業、地域の活動団体等と連携し、多様な人たちが交流・対話する場となるワークショップ、セミナー等を実施。 | 200人 | 2027年 1月～2月 | ワークショップ ルームほか |
| | 対話の効能〈わたし〉と〈あなた〉のあわい vol.3 | 新しい視点や関係を創造したり、自分の信念に変化が起こるなど、様々な効能が注目されている「対話」。その多様なアプローチについて学び・体験しながら、日常における「対話」の可能性を再考するセミナー・シリーズ。 | | | |
| | 日常を見限らない vol.6 「視覚」のワークショップ | 五感を使って日常の見落とされた出来事を再発見する体験型セミナー・ワークショップ・シリーズの第6弾。十人十色の捉え方について体験を語り合いながら、新しい世界の見方を発見する。 | 120人 | 10月～12月 | ワークショップ ルームほか |
| | 【共催事業】 財団内部、教育機関、企業、地域の活動団体等との共催 | 施設の利活用を促進するとともに、利用者の裾野を広げるため、地域の大学やNPO等と共催し、生活やデザイン、社会課題等と結びついた様々な催しを行う。 | 500人 | 通年 | ワークショップ ルームほか |

| 事業名 | 個別事業名 | 事業内容 | 計画人数等 | 実施日等 | 実施場所 |
|---------------|--------------------------------------|---|------------------------|---------|--------------------------------|
| 子どもワークショップ | 【せたがやアートファーム2026】 せーかつぷれぷれこーぼー(仮) | 幼児から中高生、さらに若年層を対象に、デザインやコミュニケーションの体験などを通して、創造性を育む機会を創出する。 地域の子ども達が事前申込なしで気軽に訪れ、デザイナーやアーティストなどのプロフェッショナルと交流しながら自由に造形活動を体験できる特別なスペースを、夏休み期間中に設ける。(1週間程度) | 2,000人 | 8月 | ワークショップ ルームほか |
| | おはなしいっぱい | 幼児から大人まで楽しめる朗読、素話、パネルシアターなど、区内30団体で構成する「世田谷おはなしネットワーク」によるお話会。子どもが、地域に根差した活動をする大人たちと出会う機会を創出し、世代間や地域間の交流の活性化や、ネットワークの広がりを支援する。 | 1,000人 | 8月 | ワークショップ ルームほか |
| 人材育成 プログラム | インターン生の受け入れ | 区内の近隣大学からインターン生を受け入れ、市民活動や文化事業の現場を体験する場を提供する。 | 2校 (若干名) | 8月 | — |
| | 職場体験、学芸員実習の受け入れ | 区内の中学校から職場体験を受け入れ、市民活動や文化事業の現場を体験する場を提供する。また、近隣の大学から学芸員実習を受け入れる。 | 2校 (若干名) | 8月 | — |
| 生活工房 広報 | 生活工房ウェブサイトの運営 SNS配信 | 生活工場の施設案内、事業予定、募集情報、レポートなどを掲載し、情報を発信する。SNS(X、Facebook Page、Instagram)と併せ、効果的に広報を展開する。 | — | 通年 | — |
| | 情報紙の編集・発行 | 生活工場の事業を紹介する情報紙を定期発行する。区内施設や全国の文化施設等に配架して施設全体の周知を図るとともに、デジタル化された情報では受け取ることが難しい層にも情報提供する。 | — | 年4回 | — |
| | 生活工房「アニュアルレポート2026」の編集・発行 | 年間のプログラムを記録した報告書。生活工場の活動を視覚的にわかりやすく紹介する冊子を発行する。施設の総合的な情報を開示することで事業活動への関心を高める。 | 1,500部 | 2027年4月 | — |
| | 事業記録のアーカイブ配信 | セミナー・ワークショップの記録をラーニングプログラムとして生活工房YouTubeチャンネルで公開する。 | ページ ビュー数 30,000回 | 通年 | オンライン |
| 国際交流・異文化理解の推進 | 国際事業部との連携事業 食文化で知る世界(仮) | 外国の食文化を通じて、世界諸国の生活・文化を体験して理解を深める。(月1回開催予定)。11月の回では「世田谷パン祭り」と連携するなど、地域の行事とも協働する。 | 240人 | 通年 | ワークショップ ルーム、コミュニ ティーキッチン |

18

| 事業名 | 個別事業名 | 事業内容 | 計画人数等 | 実施日等 | 実施場所 |
|--------|--------------------------------|--|-----------------------|-----------|--------------|
| 市民活動支援 | 【市民活動支援講座】 ちかくのとーく | 世田谷区内で活動する市民活動団体を支援するため、トークイベントやワークショップ、活動発表及び交流の場を提供する。 世田谷区内で身近な地域課題に取り組む団体や人物を紹介しながら、市民活動への参加や支援を促進する継続的なトークプログラム。会場とオンラインで開催。(3回予定) | 360人 (うちオンライン100人) | 通年 | セミナールームほか |
| | くらしと防災と市民活動 | 平時において、個人が地域とつながる市民活動を行うことの意義と、もしもの有事の大規模災害発生時に、スキルやネットワークをどのように活かせるのか、ワークショップやセミナーなどを通して考える。 | 160人 | 7月 | ワークショップルーム |
| | 【メディア事業】 メディアラボ(仮)の運営 | 区民から提供された映像のデジタルアーカイブ化とその利活用、財団の事業記録映像などを広く視聴できる場を提供する。 穴アーカイブ事業を実施する場として活用するとともに、映画上映会、音楽鑑賞会など、文生センター全体で区民活動を支援する施設としての活用も図る。 | — | 通年 | メディアラボ、オンライン |
| | 穴アーカイブ2026 ・世田谷クロニクル1936-83 | 世田谷区民から募った8ミリフィルムのアーカイブ事業。デジタル化した映像をオンラインで公開している。上映会や常設展示でも紹介し、映像から想起した個々人の記憶を収集、公開していく。 8ミリフィルムを公開しているウェブサイト「世田谷クロニクル1936-83」。ウェブサイトの運営に加えて、美術館等への貸出を行うほか、アウトリーチ事業で利活用を図る。 | ページビュー数 10,000回 | 通年 | オンライン |
| | ・せたがやアカカブの会 | 「世田谷クロニクル1936-83」に収録された映像をもとに、フィルムを介して思い出した個人的なエピソード、気付いたことや気になったことなど、スクリーンを囲みながら言葉にしていく定期上映会。(3回) | 80人 | 通年 | ワークショップルームほか |
| | ・エトセトラの時間 見えるものと見えないものを語る会 | 視覚障害者と一緒に8ミリフィルムを鑑賞するワークショップ。「視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ」との協働で、視覚障害者の鑑賞機会の拡充や、相互理解の機会を創出。(2回) | オンライン 20人 | 通年 | オンライン |
| | コロナ禍の記録 (せんだいメディアテーク連携事業) | 「インタビューシート コロナ禍のこと」プロジェクトを「せんだいメディアテーク」と協働で実施。シートを双方の施設に設置し、来館者に自身の体験談を記入してもらう。収集したシートは、館内及びウェブ上などで公開し、コロナ禍の生活での学びや教訓を次世代につなぐ。 | インタビューシート 100件 | 通年 | メディアラボ、オンライン |
| | 【活動団体支援】 「おはなしいっぱい」活動団体の支援 | 世田谷区内で活動する市民活動団体を支援するため、ネットワークづくりや交流の機会を提供する。 「おはなしいっぱい」を主宰する区内の読み聞かせ活動団体の交流会、勉強会等の開催を通じた団体間の交流やネットワークの広がりを支援する。(3回) | 延べ500人 | 6月、8月、11月 | ワークショップルームほか |

(2)世田谷文化生活情報センター 世田谷パブリックシアター

19

| 事業名 | 個別事業名 | 事業内容 | 計画人数等 | 実施日等 | 実施場所 |
|--------------|------------------------------|---|---------|---------------|------------|
| 国内演劇 創作事業 | 瀬戸山美咲演出 『コーカサスの白墨の輪』地方ツアー | 【原作】ベルトルト・ブレヒト 【上演台本・演出】瀬戸山美咲 20世紀で最も偉大な劇作家と称されるドイツのベルトルト・ブレヒトの代表作の一つ『コーカサスの白墨の輪』を演劇界の寵児と称される瀬戸山美咲演出により上演する。アメリカ亡命時代のブレヒトが、未来への希望を描いた本作を、瀬戸山美咲の手により、現代日本を映し出す新たな作品として兵庫、岡山、佐賀、愛知の劇場で上演する。(8回) *前年度にパブリックシアターで公演を実施。 | — | — | — |
| | | 【兵庫公演】兵庫県立芸術文化センター(2回) | 11,380人 | 4月 11日、12日 | 阪急 中ホール |
| | | 【岡山公演】岡山芸術創造劇場 ハレノワ(2回) | | 4月 18日、19日 | 中劇場 |
| | | 【佐賀公演】鳥栖市民文化会館(2回) | | 4月 24日、25日 | 大ホール |
| | | 【愛知公演】春日井市民会館(2回) | | 5月2日、3日 | 春日井市民会館 |
| | 芸術監督企画 『レディエント・パーミン』 | 【作】フィリップ・リドリー 【翻訳】小宮山智津子 【演出】白井晃 世田谷パブリックシアター芸術監督・白井晃が影響を受けた作家、フィリップ・リドリー作『レディエント・パーミン』を2016年初演の成果をもとに再演する。現代社会の闇や歪みを描く物語と、3人の俳優が生み出す濃密な空間性をさらに深化させ、より完成度の高い舞台創出を目指す。加えて、舞台・映像分野で注目される若手俳優や確かな演技力を持つ実力派を起用し、作品及び劇場への注目度向上と新たな観客層の開拓につなげる。(32回予定) | 6,700人 | 6月8日～ 7月5日 | シアタートラム |
| | | 【兵庫公演】兵庫県立芸術文化センター | — | 7月～8月 | 阪急 中ホール |
| | | 【宮崎公演】メディキット県民文化センター 宮崎県立芸術劇場 | — | | 宮崎県立芸術劇場 |
| | | 【新潟公演】りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館 | — | | 新潟市民芸術文化会館 |
| | | 【愛知公演】春日井市民会館 | — | | 春日井市民会館 |

| 事業名 | 個別事業名 | 事業内容 | 計画人数等 | 実施日等 | 実施場所 |
|----------------------|--|---|---|--------------------|------------|
| 国内演劇 創作事業 | 生田みゆき演出作品 『雨月物語』(仮題) | 《文化施設による高付加価値化機能強化支援事業対象事業》 【原作】上田秋成 【脚本】鈴木アツト 【演出】生田みゆき 前年度からワークショップや試演会、リーディング公演などを通じて経験を積んできた若手クリエイターを、脚本(鈴木アツト)と演出(生田みゆき)として起用し、新作上演に挑む。本作は海外展開も視野に、日本の文化や精神性、独自の芸術的魅力を備えた作品を目指し、上田秋成『雨月物語』をもとに現代の物語として構築する。上田秋成や溝口健二監督の『雨月物語』に通底する美しさと妖しさを取り入れつつ、戦乱と欲望に翻弄される現代社会を、今日のかつグローバルな視点から照射する舞台とする。(10回予定) | 2,050人 | 8月 | シアタートラム |
| | 稲葉賀恵演出作品 『イェルマ』 | 【原作】フェデリコ・ガルシア・ロルカ 【潤色・演出】稲葉賀恵 【上演台本】オノマリコ 世界的名作を現代に立ち上げる当劇場ならではの企画として、スペインの詩人フェデリコ・ガルシア・ロルカの傑作『イェルマ』を、演出家・稲葉賀恵により現代的な視点から物語をとらえ直し上演する。1930年代の農村社会における「女性は子どもを産むべき」という価値観のもと、子に恵まれないイェルマの苦悩を描いた本作を、家族観や生き方が大きく変化した現代社会に向けて再構築。演出は読売演劇大賞優秀演出家賞を受賞し活躍の幅を広げる稲葉賀恵、上演台本は繊細な筆致で注目される劇作家・オノマリコが担当。次代を担う二人がタッグを組み、日本演劇界のレパトリーとして誇れる創作を目指すとともに、質の高い最先端の舞台芸術に触れる機会を創出する。(28回予定) | 5,360人 | 9月～10月 | シアタートラム |
| | 【兵庫公演】兵庫県立芸術文化センター | — | — | | 阪急 中ホール |
| | 【宮城公演】多賀城市文化センター | — | — | | 多賀城市文化センター |
| | 【愛知公演】東海市芸術劇場 | — | — | | 東海市芸術劇場 |
| 芸術監督企画 『ヨハンナ』(仮題) | 《文化施設による高付加価値化機能強化支援事業対象事業》 【原作】ベルトルト・ブレヒト 【脚本】鈴木アツト 【演出】白井晃 ブレヒトの代表作の一つである『屠殺場の聖ヨハンナ』を、濃密な劇空間となるシアタートラムに相応しい戯曲にリライトして上演する。脚本には、文化庁の「文化芸術活動基盤強化基金」、「文化施設による高付加価値化機能強化支援事業」の育成対象者としている若手クリエイターの劇作家・鈴木アツトを起用。出演者数を絞り、30人以上の登場人物を俳優6人で演じ分ける予定。本番前にワークショップを実施し、若手クリエイター育成の機会とする。原作の『屠殺場の聖ヨハンナ』を現代にも通じる資本主義社会の有り様を厳しく問いたず作品としてリライトし、劇場芸術監督である白井晃の演出で上演する。(WS7日、公演28回予定) | 5,720人 | 【WS】 11月～12月 【公演】 2027年 2月～3月 | シアタートラム/ 稽古場/ほか | |

| 事業名 | 個別事業名 | 事業内容 | 計画人数等 | 実施日等 | 実施場所 |
|-------------------|--------------|---|--------|-------|-----------------------|
| 国内演劇 創作事業 | 作品創造研究 | 次年度以降の上演演目としての可能性を探るため、調査研究の一環として、海外戯曲の翻訳(粗訳)、新企画のための演目調査を先行して行い、世田谷パブリックシアター企画制作としての作品に適しているか否かを検討する。また、次世代を担うスタッフや俳優などの出会いの場としても機能するワークショップを開催することにより、実演家の若手育成にも貢献する。事業の実施に着手する以前から作品検討を行うことにより、より完成度の高い舞台作品を創造する環境づくりを行い、劇場のレパートリー作品を充実させていく。 | — | 通年 | 稽古場ほか |
| | 創造環境開発 | 今後の公共劇場のあり方及び公共劇場が取り組むべき事業に向けて、調査・実践を行う。調査・研究の場は「SPT創作ラボ」として、演出家・劇作家・俳優・デザイナー等を開き、人材育成の役割も果たす。2026年度は特にアクセシビリティに焦点を当て、「SPT創作ラボ」を構成。またその実践としてユニバーサルワークショップとミニ発表会を行う。 実践パートにおいては、文化庁の「障害者等による文化芸術活動推進事業」助成金の獲得を目指す。万が一不採択の場合はミニ発表会部分を縮小するなどして調整する。(SPT創作ラボ16回、WS5回+2回+発表会1回) | 440人 | 通年 | シアタートラム/稽古場/セミナールームほか |
| 21 | せたがやアートファーム | せたがやアートファームのプログラムとして、当代随一の人気と実力を持つ春風亭一之輔を迎え、落語など芸能の演目によるプログラムを企画し上演する。寄席芸能がもつ魅力を幅広い年齢層に向けて次世代へつなぐ。はじめて落語に触れる子どもたちに向けた親子で楽しめる入門的な公演と、落語通も満足できる本格的な落語会と、それぞれターゲットの異なる特色ある公演を2回実施する。主劇場の改修工事に伴い、せたがやイーグレットホールでの出張公演として行う。(2回) | 1,720人 | 7月23日 | せたがやイーグレットホール |
| 若手アーティスト育成ワークショップ | 日英共同制作『LIFE』 | 《文化施設による高付加価値化機能強化支援事業対象事業》 北朝鮮による日本人拉致問題を題材とした英国ナショナル・シアター制作の『The Great Wave』(2018年初演)の脚本で大きな注目を集めた英国人劇作家フランシス・ターンリーによる新作『LIFE』を日英共同制作する。2027年度に計画されているシアタートラムでの公演に向けた創作プロセスの一環として、ロンドンでワークショップを行う。日本人若手アーティスト(クリエイター、俳優、スタッフ等)と英国側チームによるワークショップを実施し、最終日には非公開の試演会を行う。(1回予定) | 20人 | 未定 | ロンドン市内の稽古場 |
| | 海外公演調査研究 | 《文化施設による高付加価値化機能強化支援事業対象事業》 当劇場が制作した舞台芸術作品の海外ツアー公演や新規のプロジェクトにおける国際共同制作の実現可能性について調査するもの。2027年度～2028年度にかけて計画している海外公演の実現に向けて、海外の劇場及び舞台芸術関係者との交渉・打ち合わせ、現地視察等を行う。調査先は韓国、東南アジア、英国を予定。 | — | 通年 | 韓国 東南アジア 英国 |

| 事業名 | 個別事業名 | 事業内容 | 計画人数等 | 実施日等 | 実施場所 ²⁷ |
|---------------------|----------------|---|--------|------|--------------------|
| 提携公演 | ダンス提携公演／育成 | 気鋭の若手カンパニーからベテランまで、選りすぐりのダンスカンパニーと提携し、現代演劇と舞踊を専門として上演する劇場のレパートリーの多様性を創出する。創作活動を支援しながら、演劇的な要素や、音楽、美術など、異なるジャンルのアートとの出会いを提案し、世田谷でしか生まれ得ない新しい舞台芸術の創造を目的とする。(3団体) | 1,600人 | 通年 | シアタートラム |
| | 演劇提携公演 | 気鋭の若手から長年の実績を誇るカンパニーまで、優れた演劇作品の上演実績がある劇団・ユニット・制作会社・団体等と提携し制作的な補助、広報宣伝協力等を行う。 ・PANCETTA ・玉田企画 ・シス・カンパニー | 8,700人 | 通年 | シアタートラム |
| コミュニティプログラム | 劇場での演劇ワークショップ | 1～2日単位で気軽に演劇や劇場を体験できるワークショップ「デイ・イン・ザ・シアター」を中心に、テーマを設定した上で複数日にわたって行う演劇ワークショップを実施する。(24回予定) | 360人 | 通年 | 稽古場ほか |
| | 子どものためのワークショップ | 子どもを対象に、演劇ワークショップを実施する。 ①「夏休みWS」:学校の長期休暇に合わせたワークショップ。 ②「ごちゃまぜWS」:学齢で区切らないワークショップとし、子どもたちが年齢の違うグループと作業する機会を提供する。 ③「ひらけ！絵本」:未就学児に向けた読み聞かせワークショップ。 (62日予定) | 930人 | 通年 | 稽古場ほか |
| | 地域の物語 | 区民を中心とした参加者たちが、現代社会が抱える課題から考えられるテーマをもとに、自分たちの住む社会・暮らし・地域について思考するワークショップを3か月をかけて実施する。最後には、作品としてまとめあげ、シアタートラムにて広く地域の観客に向けて上演する。(通年WS32日、発表会2回予定) | 650人 | 通年 | 稽古場/シアタートラムほか |
| 学校とその他区内施設との連携プログラム | 学校のためのワークショップ | 世田谷区内の小中学校の児童・生徒・教員を対象に、以下の3つの事業を実施する。 ①「ワークショップ巡回団」:進行役やアーティストが学校へ出向き、教科の学びに活かす演劇ワークショップを実践する。(210回予定) ②「新小学一年生WS」:教育委員会と連携して実施する。(45回予定) ③「先生に向けたWS進行のヒント」:冊子作成。 | 6,500人 | 通年 | 世田谷区内小中学校/稽古場 |
| | 地域連携プログラム | 非営利の区内施設／団体(児童館、障害者支援施設、病院、集合住宅等)に進行役を派遣して、演劇的手法を用いたワークショップや参加型作品を、当該施設／団体と協働して施設利用者及び近隣住民に向けて実施する。 今年度は、過年度に引き続き下馬地区に焦点をあて、地域の福祉法人ほかと連携してアートのお祭り「極楽フェス」に参加するほか、区内施設などでの企画等を予定している。(WS20回、フェスティバル1回) | 200人 | 通年 | 世田谷区内施設ほか |

| 事業名 | 個別事業名 | 事業内容 | 計画人数等 | 実施日等 | 実施場所 |
|-----------------------------------|----------------------|--|--------|----------------|-----------------------------|
| 23 学校とその他 区内施設との 連携プログラム | 中学校演劇支援 | 中学生を対象に、年間を通じた演劇活動を提供する。 ①「中学校支援」 世田谷区立中学校教育研究会演劇教育研究部と連携し、区立中学校演劇部を中心とした中学生への活動支援を行う。支援内容は、世田谷区立中学校演劇発表会支援を中心に、学校に訪問しワークショップを行うなど、希望に応じたものとする。(事前支援5日、当日3日予定) ②「世田谷パブリックシアター演劇部」 演劇部がない学校の子どもに向け、劇場で演劇ワークショップを実施する。2学期には、作品を作り発表することを前提としたワークショップを実施。作品は世田谷区立中学校演劇発表会等で発表する。(WS20回予定) | 450人 | 通年 | 世田谷区内小中学校/成城ホールほか |
| | 小学校古典芸能鑑賞教室 [区受託] | 世田谷区立の小学校(全校)の6年生を対象に、各学校体育館にて狂言ワークショップを実施。能狂言の発想や技能を体感し、日本固有の伝統芸能について関心を高める機会を提供する。(28回予定) | 6,500人 | 5月～6月 | 世田谷区内小学校体育館 |
| | 移動劇場「あっとホーム公演」 | 劇場へなかなか足を運ぶことのできない、お年寄りや障害者が生活する場所へ、劇場から演劇を運んで上演する。観客は施設の利用者、職員ほか、家族、近所に住む方々。プロの演出家、俳優が、誰にでも楽しんでもらえ、かつ移動可能なオリジナル作品を創って、見ている人たちの前で演じる。また、劇には施設の職員が登場する場面や、見ている人たちが物語に参加できる仕掛けを用意して、その場にいる人たち全員が劇を介して一体感を持てるように工夫する。(14回予定) | 1,000人 | 5月～6月 | 世田谷区内特別養護老人ホーム、デイサービス、障害者施設 |
| 研究育成プログラム | 観客育成プログラム | 地域市民及び観客を対象に、以下の2企画を実施する。 ①「世田谷パブリックシアターダンス食堂」:劇場で上演するダンスプログラムと連携し、ダンサーの理念やメソッドに触れるワークショップ及びトーク ②「トーク企画」:舞台芸術に対する視野を広げ、批評的な視点を獲得するためのトーク企画を対談形式で実施 (5回予定) | 200人 | 通年 | 稽古場/セミナールームほか |
| | 専門家育成プログラム | 大学生や進行役、研究者、俳優、演出家を対象に、演劇ワークショップの社会における活用方法について調査研究する「SPTラボラトリー～演劇ワークショップラボ」を開き、ラボメンバーを募集する。今年度は、新たに若手演出家等の創造プロセスについてのレクチャーやワークショップを組み合わせたラボを開催予定。一部は一般にも公開する。(25回予定) | 460人 | 通年 | 稽古場/セミナールームほか |
| 舞台技術者 人材育成プログラム | 舞台技術講座 | 次世代を担う舞台技術者やプランナー、デザイナーを対象に、舞台・照明・音響各分野で未経験者及び経験者向けの安全講座、各分野別プログラムを実施する。また、安全セミナー編、劇場構造講座など多様なプログラムを設ける。(4講座予定) | 170人 | 8月、 2027年1月 | シアタートラム |

| 事業名 | 個別事業名 | 事業内容 | 計画人数等 | 実施日等 | 実施場所 ²⁹ |
|---------------------------|------------------------------|--|----------|----------------|--------------------|
| 舞台技術者 人材育成プ ログラム | 舞台技術支援 | 劇場使用者等に対して、設備等の使用講習会を実施するとともに、プラン・オペレートや機材等の支援を行う。 | — | 通年 | — |
| 区民の表現 の場の提供 | フリーステージ | 世田谷区民を中心とした、音楽やダンスなどの文化活動を行っている団体から出演団体を公募。シアタートラムにてダンス部門、音楽部門の2部門を実施する。各団体と劇場スタッフが協力し、事前の打ち合わせやリハーサルなどの作業を重ね、日ごろの成果を発表する。(7日間) | 3,000人 | 4月25日～ 5月6日 | シアタートラム |
| | シアタートラム・ネクストジェネレーション (演劇) | 2008年度より実施されてきた世田谷パブリックシアターによる、若い才能の発掘と育成を目的とした事業である「シアタートラム・ネクストジェネレーション」を、2023年度からは「演劇」「フィジカル」とジャンルを分け、隔年で実施。今年度は「演劇」部門で「yoowa(ユウワ)」を選出し公演を実施する。 シアタートラムが次代を担う若手実演家・実演団体にとっての創造・活動の“拠点”となることを目指し、世田谷区から全国へ発信する長期的なプログラムとする。(7回予定) | 1,400人 | 12月14日～ 20日 | シアタートラム |
| 24 地域活性の ための文化 芸術事業 | 世田谷アートタウン 2026 『三茶de大道芸』 | 三軒茶屋の街を舞台に、商店街の各所で大道芸のパフォーマンスなどを行う。三軒茶屋の活性化と地域の文化向上を図るため、地元商店街や町会等との実行委員会方式により実施する。2日間開催。(文生センター全体事業) | 200,000人 | 10月 17日、18日 | 三軒茶屋駅周辺 商店街ほか |
| 劇場広報 | 劇場営業広報宣伝 | 営業・広報宣伝活動を通じて世田谷パブリックシアターの事業を世田谷区内外に広く周知する。地域の劇場/創造発信型劇場としての当劇場の存在意義を高めるブランディング活動として各種メディアへの情報提供、ホームページや広報誌などによる情報発信を行い、主催事業への集客を図り財団の収益性の向上に資する営業活動を行う。 | — | 通年 | — |
| | 学芸共通広報宣伝 | 劇場の学芸事業を普及するための広報物として、特集テーマをもとに事業を横断し活動の意義を深める冊子の刊行と、学芸プログラムの活動を周知・宣伝することを目的としたリーフレットの制作を行う。 | — | 通年 | — |
| | 劇場雑誌の発行 | 各事業の成果を記載したアニュアルレポートを劇場雑誌として編集・発行する。2026年度は2025年度の事業を報告するための冊子を作成する。その他、必要に応じて事業ごとの活動を分析、記録、周知する劇場雑誌を編集・発行する。 | 400部 | 通年 | — |

| 事業名 | 個別事業名 | 事業内容 | 計画人数等 | 実施日等 | 実施場所 |
|-------------|--|---|--------|--|----------------------------|
| 劇場広報 | 劇場ツアー | シアタートラムの施設や機構などをツアー形式で参加者に紹介する。ツアーのナビゲートは芸術監督や劇場職員が主体的に行う。(4日間) | 250人 | 通年 | シアタートラム |
| 海外招聘・国際共同制作 | アートタウン関連企画 現代サーカス招聘公演 ザ・ベッセル・プロダクションズ 『The vessel／はこぶね』(仮題) | 毎年秋の「世田谷アートタウン」関連企画として、過去に公演実績があり『リミッツ』(2018)にも出演したSarah Lett率いるザ・ベッセル・プロダクションズを招聘し、話題作『The vessel／はこぶね』(仮題)を上演する。担当者がスウェーデンで実際に鑑賞し、高度なサーカステクニックとコンセプトチュアルな表現、さらにティーンを中心とした若い観客の反応に強い手応えを感じたことから招聘を決定した。芸術性と技術を併せ持つ現代サーカスを紹介し、多様な観客に舞台鑑賞の魅力を届ける機会とするほか、アマチュア向けワークショップも2種類実施する。主劇場の改修工事に伴い、せたがやイーグレットホールでの出張公演として行う。(3回予定) | 1,130人 | 10月23日～ 25日 | せたがやイーグレットホール |
| | 海外招聘ダンス公演 闘劇場 『扮仙(バンシアン／オープニングセレモニー)』 | 「扮仙」とは台湾オペラの導入部で演じられる祝祭劇を意味する。さまざまな神が舞台上に登場し、祝福と吉祥を授ける扮仙のセレモニーがダンスとなって現代に立ち上がるさまは、演じる者と観る者との未来のコミュニケーションを想起させる。歴史・伝統・ジェンダーなど複数の視点が交錯する本作を通じ、台湾の未来を観客とともに見つめる機会とする。(3回予定) | 510人 | 2027年2月 | シアタートラム |
| せたがやアートファーム | せたがやアートファーム2026 ラルンベ・ダンス 『ステージ・オン・ザ・ロード』 | せたがやアートファームのプログラムとして、スペイン・マドリッドを拠点に50年活動を続けるダンスカンパニー、ラルンベ・ダンスを招聘する。当劇場ではこれまでに、3D映像とダンスを融合した作品で子どもたちを魅了してきたが、今回はVRを用いた展示に加え、ミニパフォーマンスやワークショップを実施し、多角的にダンスを体験できる機会を提供する。舞台鑑賞に馴染みのない子どもたちへダンスへの入口を開くというカンパニーの理念に共感し招聘を決定した。夏休み期間にファミリー層が気軽に立ち寄れる場を設け、海外の質の高い作品に触れる機会を創出する。(6日間予定) | 820人 | VR 7月21日～ 24日 WS 7月25日、 26日 | ワークショップ ルーム／シアター トラム |
| | せたがやアートファーム2026 アガサ&アドリアン 『N.Ormes／ノルムズ』(仮) | せたがやアートファームのプログラムとして、カナダ・ケベック州を拠点に活動する若手サーカスデュオ、アガサ&アドリアンによる話題作『N.Ormes／ノルムズ』(仮)を招聘する。パワフルでコミカルなアクロバットとストーリーテリングを織り交ぜ、体の大きさや性別といった固定概念をユーモアをもって壊し、自分の夢を追う大切さを提示する作品である点を高く評価し、招聘を決定した。アクロバットとダンスを融合した彼らのパフォーマンスは国籍や年齢を超えて楽しむ、夏休み期間にファミリー層も気軽に参加できる公演として、海外の上質な作品に触れる機会を提供する。(3回予定) | 700人 | 公演 7月20日、 23日 WS 7月27日 | シアタートラム |

| 事業名 | 個別事業名 | 事業内容 | 計画人数等 | 実施日等 | 実施場所 |
|-------------------|----------------------------|---|--------|----------------------------------|-------------------------|
| 身近に親しむ 演奏会 | 室内楽シリーズ | 内外で活躍する演奏家による室内楽の演奏会シリーズ。多彩で質の良い音楽を提供する。「小林沙羅(ソプラノ)」、「菊池洋子(ピアノ)」の2公演と関連のワークショップを実施の予定。 | 660人 | 7月4日 10月12日 | 成城ホール |
| | シリーズ和・華・調 | 日本の伝統音楽を紹介していくシリーズ。第一級の音楽家による演奏に、親しみやすい演出を加え、現代の観客に堪能してもらう。2021年に評判を得た、西江喜春、嘉数道彦らによる、沖縄の歌と踊りのアンコール公演。 | 270人 | 5月30日 | 成城ホール |
| | せたがや音楽研究所 | せたおんスペシャル・プロデューサー宮川彬良が所長に扮して進行する人気の企画。ゲストの生演奏を交えながら、音楽の魅力を従来とは違った新しい視点で楽しく紹介していく。 | 760人 | 9月5日 | せたがやイーグレットホール |
| | ミュージック・ラウンジ | 大人がリラックスして楽しめるコンサート。会社勤めなどで忙しく、生の音楽に触れる機会の少ない人たちに向けて、肩の凝らない演奏会を開催する。初となる玉川せせらぎホールでの1回を含め、3回実施の予定。 | 870人 | 5月15日 7月17日 2027年 1月31日 | 北沢タウンホール、玉川せせらぎホール |
| | せたおんプレゼンツ | せたおんがお勧めする選り抜きのアーティストによるコンサート。本格的ながら、区民が気軽に楽しめる内容のものを提供する。名手たちによる木管アンサンブル・東京六人組の演奏会のほか、2企画を予定。 | 1,200人 | 12月6日 2027年 2月21日 | せたがやイーグレットホール |
| | 世田谷区民会館ラウンジ・コンサート [区受託] | 周辺住民はじめ幅広い区民が、せたがやイーグレットホールに親しみを感じるように、公共空間である2階ラウンジを利用して、気軽に楽しめるコンサートなどの無料イベントを実施する。 | 480人 | 未定 | せたがやイーグレットホール 2階ラウンジ |
| 活動をつなぐ 演奏会 | 異分野とのコラボレーション | 世田谷ならではのオリジナル企画。池辺晋一郎音楽監督がホストとなり、様々な分野で活躍しているゲストを迎え、テーマにまつわる音楽とトークを展開していくコンサート。 | 270人 | 11月7日 | 烏山区民会館 |
| | せたがや名曲コンサート | 世田谷フィルハーモニー管弦楽団と世田谷区民合唱団が共演する、恒例のコンサート。実施にあたっては、両団と共に実行委員会を形成して、運営にあたる。 | 1,320人 | 2027年 2月28日 | 昭和女子大学 人見記念講堂 |
| | 連携コンサート | 多様な事業を展開するため、意義ある企画を選び、他団体と共同で開催するコンサート。世田谷美術館開館40周年企画と連動したもの、世田谷パブリックシアター「せたがやアートファーム」の一環で行うものを予定。 | 未定 | 4月4日 7月29日 | 世田谷美術館 シアタートラム |
| ワークショップ・講座 | 音楽講座 | 公演に因んだもの、また音楽にいろいろな角度から焦点をあてたものなど、区民がいろいろな形で音楽の楽しさ、おもしろさ、奥深さに触れられるような講座を開催していく。 | 140人 | 未定 | 未定 |
| 次の時代の ためのプログラム | せたがやジュニアオーケストラ運営 | 子どもたちが、オーケストラ活動を通じ、情操や協調の精神を学び、豊かな人間性、社会性を身に付けることを目指す。楽器ごとのパート練習、全パートでの合奏練習などを年間通じて行う。 | 85人 | 通年 | 区内各所 |

| 事業名 | 個別事業名 | 事業内容 | 計画人数等 | 実施日等 | 実施場所 |
|--------------------------|--|--|--------|-----------------------|---------------------------|
| 次の時代の ためのプログラム | せたがやジュニアオーケストラ交流イベント | せたがやジュニアオーケストラの存在を社会に広めていくためのイベント。世田谷区が文化交流に関する覚書を締結している台湾・高雄市に演奏旅行に出かけ、KSO高雄市青少年交響楽団との合同演奏会を開く。 | 700人 | 8月2日 | 衛武宮音楽ホールほか |
| | せたがやジュニアオーケストラオータムコンサート | 親しみやすい曲目と趣向を用意して、せたがやジュニアオーケストラの練習の成果を披露する。全体合奏を行うほか、セクションごとのアンサンブル曲も交え、バラエティ豊かな公演を目指す。 | 730人 | 10月18日 | せたがやイーグレットホール |
| | せたがやジュニアオーケストラ定期演奏会 | 年度末に、メンバー全員が揃って、1年間取り組んだ活動の成果を問う演奏会を開催する。同時に、広く区民にジュニアオーケストラへの関心を広げていくことを目指す。 | 820人 | 2027年 3月14日 | せたがやイーグレットホール |
| | 学校への訪問企画 | 多くの子どもたちに音楽を身近に感じてもらうために、体育館などで開くコンサートやワークショップなどを通じて、学校に生の音楽を届ける。 | 1,000人 | 未定 | 未定 |
| 27 区民の表現 の場の提供 | 世田谷アーティスト支援企画 Discovery Setagaya Sounds | 世田谷区民の一流アーティストによる、世田谷区民に向けた、世田谷ならではの公演を実施して、今後の表現活動のきっかけをつくる。前回の好評に応じて、井上鑑が率いるSetagaya Super Bandが再登場する。 | 810人 | 11月21日 | せたがやイーグレットホール |
| | 区民参加プログラム Setagaya Voice Fes | 事前のワークショップに参加した区民が、第一線の音楽家と共に作っていくステージ。“歌”に焦点をあてる「Setagaya Voice Fes」の第2回目は、湯川れい子がプロデュースを担当。 | 740人 | 10月3日 | せたがやイーグレットホール |
| | 世田谷区民音楽団体の支援 [区受託] | 世田谷フィルハーモニー管弦楽団、世田谷区民合唱団、世田谷区民吹奏楽団、アマチュア3団体の活性化、発展を側面から支援する。 | 3団体 | 通年 | — |
| 地域活性の ための文化プ ロジェクト | せたがやまちかど・まちなかコンサート | 区民が身近な場所で気軽に音楽を楽しめるよう、区内各所の公共施設や街角などで、無料のコンサートを実施する。区民が幅広く音楽に親しめるように、様々なジャンルの音楽家を招いていく。 | 1,100人 | 6月28日 12月19日 ほか | せたがやイーグレットホール、玉川せせらぎホールほか |
| | Setagaya Arts Place [区受託] | 世田谷区の主催するイベントや地域のにぎわいの核となっている商店街のイベントに、芸人やアーティストを派遣し、イベントをさらに盛り上げ、区民に身近な場所で気軽に文化・芸術にふれる機会を提供する。 | 未定 | 未定 | 未定 |
| | 世田谷アーティストバンク(音楽演奏部門) [区受託] | 世田谷のアーティストが、より多くの人に出会い、表現の場を広げていくための登録制度。音楽演奏部門について、運営を担う事務局業務を行うとともに、お披露目となるコンサートを開催する。 | 未定 | 10月4日 ほか | せたがやイーグレットホールほか |
| 音楽事業部 広報 | 各種広報活動 | ホームページ、情報誌「せたおんイベント」、さらにはマスコミ等への情報提供を通じ、事業予定・内容等を広く区民へ発信するほか、戦略広報としての展開を推進する。 | — | 通年 | — |

| 事業名 | 個別事業名 | 事業内容 | 計画人数等 | 実施日等 | 実施場所 |
|---------------|----------------------------------|---|--------|----------------|---------------------------|
| 市民活動支援 | せたがや国際交流センターの運営 | 主に、区内在住外国人の生活相談等の問い合わせに対する窓口案内などを行う。また、行政情報、生活・文化情報を多言語で発信し、国際交流に関する地域活動団体の紹介、パネル展示企画などを行う。 | 4,200人 | 通年 | せたがや国際交流センター |
| | 区内活動団体の支援事業 | 区内で多文化共生、国際交流、国際貢献活動をしている団体のPRや、イベント等の紹介、情報の共有などにより事業連携を行う。 | 15団体 | 通年 | せたがや国際交流センター |
| 国際交流・異文化理解の推進 | 区民国際交流事業 | 【せたがや国際メッセ】 区民が多様な文化を知り・触れることができ、参加・出展する区民団体等の活動をPRする場を提供する「せたがや国際メッセ」を区と共催で実施する。 | — | 11月 | せたがやイーグレットホール |
| | | 【国際交流団体との共催】 区民と外国にルーツを持つ人との交流を目的とする事業を、区内の国際交流団体と共催して実施する。(年2回) | 各100人 | 7月、 2027年1月 | セミナールーム ワークショップ ルーム |
| | にほんご交流会 | やさしい日本語を用いて外国人と日本人がいくつかのグループに分かれ、お互いの文化や生活習慣などについての意見交換をして交流を行う。(5回) | 各60人 | 年5回程度 | テンブル大学 日本大学文理学部ほか |
| | まち歩き | 文化施設や商店街など、地域をめぐるイベントを企画し、区内の在住外国人と区民が、地域の魅力を再発見しながら交流する機会を創出する。 | 20人 | 未定 | 未定 |
| ワークショップ・講座 | 【多文化理解講座】 | 文化の違いなどを学ぶことができる講座を開催し、多文化共生社会実現に向けての一助とする。 | | | |
| | ①やさしい日本語ワークショップ | 日本語が少しだけ分かる外国人に伝わりやすい「やさしい日本語」を学ぶ講座、やさしい日本語で話すコツを習得する(基本編/実践編)。 | 各40人 | 9月、 2027年2月 | セミナールーム |
| | ②国連UNHCR関連事業 「難民映画祭パートナーズ上映会」 | 世界難民の日(6/20)に合わせて国連UNHCR協会と「難民映画祭パートナーズ上映会」を実施する。 | 120人 | 6月21日 | 北沢タウンホール |
| | ③子ども企画 子ども大使～カナダ大使館への訪問 | 公募した区内小学校5、6年生を対象に、子ども大使としてカナダ大使館を訪問する。 | 20人 | 7月下旬 | カナダ大使館 |
| | ④外国人のための生け花体験 | 外国人を対象に、日本の伝統文化である生け花体験教室を実施する。(2回) | 各10人 | 4月 5月 | ワークショップ ルームA |

| 事業名 | 個別事業名 | 事業内容 | 計画人数等 | 実施日等 | 実施場所 |
|-------------------------------------|--------------------------|--|---------------|------------------------------|-----------------------------|
| ワークショップ ・講座 | ⑤外国人のためのテーブル茶道 | 外国人を対象に、日本の伝統文化である茶道を実施する。(2回) | 各10人 | 未定 | ワークショップ ルームA |
| | ⑥食文化で知る世界(仮) | 外国の食文化を通じて、世界諸国の生活・文化を体験して理解を深める。※生活工房との連携企画 | 各30人 | 未定 | ワークショップ ルームA |
| | 【姉妹都市交流ワークショップ】 【区受託】 | 世田谷区が提携する姉妹都市との交流事業において【小・中学生親善訪問団】を対象に、文化の違いや多様性を体感する機会として日本文化体験をワークショップで提供する。 | | | |
| | ①バンバリー市小学生親善訪問団 | バンバリー市の小学生親善訪問団を対象に、日本の伝統文化である茶道をテーブル形式で体験するワークショップを実施する。 | 20人 | 9月 | 未定 |
| | ②ウィニペグ市中学生親善訪問団 | 中学生親善訪問団(ウィニペグ市、世田谷区の中学生)を対象に、日本の紙細工や昔ながらの遊び(折紙、めんこ、カルタなど)を体験するワークショップを実施する。(予定) | 36人 | 2027年1月 | 未定 |
| 29 地域日本語 教育の総合 的な体制づく り | 外国人のための日本語教室 | 「日本語教育の推進に関する法律(令和元年6月施行)」のもと、在留するすべての外国人が日本社会で生活に必要な日本語を身につけられるよう講座を開催する。(5期、各18回) | 各20人 | 5月、7月、 9月、11月、 2027年1月 | セミナールーム オンラインほか |
| | せたがや日本語サポーター講座 | ①日本語支援ボランティアをこれから始める方や初心者を対象としたオンラインによる初級講座(2期、各5回) ②日本語支援ボランティアとして1年以上活動中の方を対象とした中級講座(対面)を実施する。 | ①各40人 ②40人 | ①6月、10月 ②12月 | セミナールーム オンラインほか |
| | 【その他】 | | | | |
| | しごとのための日本語 | 厚生労働省が実施している定住外国人のための「しごとのための日本語」の講座を区(経済産業部)と共催して実施する。(前期・後期 各36回) | 各20人 | 5月～7月 10月～12月 | セミナールーム ワークショップ ルームほか |
| | 外国人のための労働相談会 | 厚生労働省が実施している定住外国人のための労働相談会を区(経済産業部)と共催して実施する。 | 未定 | 11月 | 未定 |
| | 外国人のための無料リレー相談会 | 外国人在留支援センターが実施する、主に留学生に向けた仕事に関する専門家相談会を区(生活文化政策部 文化・国際課)と連携して協力する。 | 未定 | 7月 | 未定 |
| 国際事業部 広報 | 国際事業部広報 | せたがや国際交流センターの施設案内、国際事業部の事業などを情報発信する。また国際交流活動や地域活動などを実施する団体情報、外国人の生活に役立つ情報なども併せて発信する。 (ウェブサイト(改修予定)、Facebook、X、Instagram、メールマガジン、ニュースレター、せたがや区民まつり ブース参加・PR) | — | 通年 | — |

| 事業名 | 個別事業名 | 事業内容 | 計画人数等 | 実施日等 | 実施場所 |
|-------|--------------------------------------|---|---------|---------------------------|--------|
| 企画展事業 | 田中信太郎——意味から遠く離れて | 1960年代以降の日本の美術において重要な作家の一人となる田中信太郎(1940-2019)の回顧展を開催する。田中信太郎は高校卒業後東京に出てきて、ネオ・ダダイズム・オルガナイザーズの一員として表現活動を始める。ここで注目され、1960年代後半には、アメリカの同時代美術とも関連するミニマルアートの作品を発し始め、ヴェネツィア・ビエンナーレほか、多数の海外展に出品するようになる。1978年に日立市のアトリエが完成するまでのこの飛躍の時期に、田中は世田谷区祖師谷二丁目で制作をしていた。戦後美術史を語るときに外すことのできない作家にもかかわらず、田中の業績を振り返る展覧会は少ない。本展ではアトリエに残された作品を中心に、田中が作り出そうとした世界を再確認する。 | 18,000人 | 4月25日～ 6月28日 | 世田谷美術館 |
| | ふたりのアフリカ、手仕事の宇宙—— 川田順造・小川待子コレクション | アフリカ・ヨーロッパ・日本という3つの視座からの「文化の三角測量」によって文化を複眼的に理解する道をひらいた人類学者・川田順造(1934-2024)。夫の川田と共に西アフリカに暮らし、調査も行なうなかで、独自の作品制作原理を見出した陶芸家・小川待子(1946-)。本展では夫妻が1970年前後から集め、その後自宅で大切に保管、あるいは日々使っている西アフリカの手仕事の品々——瓢箪のうつわ、編みかご、織りものや染めもの、木の仮面や腰かけなどを一堂に展示する。川田がフィールドで撮った記録写真にも注目する。 | 16,000人 | 7月11日～ 9月6日 | 世田谷美術館 |
| | スウェーデン・テキスタイル——暮らしと 自然に息づく北欧デザイン | 日本における北欧デザインへの関心はますます高まり、その人気はもはや一過性のブームにとどまらず、我々の暮らしに定着しつつあるといえる。これまで主にフィンランドのデザインが注目されてきたなか、本企画はスウェーデンのテキスタイルデザインにスポットをあてる、国内でも初といえる試みとなる。厳しい自然条件のなか、生活に根ざした繊維産業が長く発展してきたスウェーデンでも、そのデザインが国際的な認知を迎えたのは、20世紀半ば頃であった。本展では、ミッドセンチュリーのテキスタイルデザインが、スウェーデン国内でも再注目されるきっかけをつくったサラ・アクステイリウス氏の個人コレクションを中心に、専門美術館やアーカイヴの協力を得ながら、魅力的なテキスタイルデザインの数々を紹介する。 | 30,000人 | 9月19日～ 11月15日 | 世田谷美術館 |
| | 没後50年 銅版画家・駒井哲郎—— 掌上にひろがる星座のように | 版画家・駒井哲郎(1920-1976)の没後50年を記念して開催する回顧展である。10代の頃より銅版画の技法を学んだ駒井は、その後東京美術学校油画科を卒業し、戦後より版画家としての道を歩み始めた。詩情あふれる表現で技法の探求に励み、詩画集をはじめ文学者らとの協働による仕事も手掛けている。本展では、世田谷美術館が所蔵する駒井作品や、遺族のもとに残る初期の油彩、挿絵原画、当館に寄託されている駒井が所有していた版画作品などにより、初期から晩年までの軌跡を辿る。 | 15,000人 | 11月28日～ 2027年 1月31日 | 世田谷美術館 |

| 事業名 | 個別事業名 | 事業内容 | 計画人数等 | 実施日等 | 実施場所 |
|-------------------------|-------------------------------|---|--------------------------|--------------------------|------------|
| 企画展事業 | 生命の惑星 セタビの森のわたしたち | 動物、植物に続く「セタビの森シリーズ」第3弾。当館のコレクションから、古今東西、様々な手法で表現されたいろいろな人物の作品を一同に展示する内容。学校連携の作品展示や来場者が参加できる参加コーナー、また併せてワークショップやパフォーマンスなどのイベントを開催する。 | 10,000人 | 2027年 2月13日～ 3月31日 | 世田谷美術館 |
| 調査・研究 | 【調査・研究】 企画展 | 次年度以降の企画展の立案・具体化のため、国内外各所との交渉や基礎的な調査研究を行う。 | — | 通年 | 世田谷美術館 |
| | 収蔵品等 [指定管理] | 収蔵品及び美術館活動に係る調査・研究を行う。学芸員による調査研究成果を『紀要』として編集発行し、美術研究に資する。 | 350冊 | 通年 | 世田谷美術館及び分館 |
| | アーカイブ [指定管理] | 今年度の事業のまとめとして『年報』を編集発行し、美術館活動を総括し、記録する。 | 300冊 | 通年 | 世田谷美術館 |
| 31 収蔵品展 | 美術館 ミュージアム コレクション [指定管理] | 世田谷美術館の収蔵作品を、テーマを設定して公開する。 | 12,000人 | (2月21日)～ 4月12日 | 世田谷美術館 |
| | | ミュージアム コレクション特別篇 開館40周年記念 「世田美のあしあと——暮らしと美術のあいだで」 | | 5月2日～ 7月26日 | |
| | | 第Ⅰ期 武蔵野・再考——写真家たちの武蔵野と向井潤吉の写真 | | 8月8日～ 10月25日 | |
| | 第Ⅱ期 気になる、こんどの収蔵品 作品がつれてきた物語 | | | | |
| 向井潤吉アトリエ館収蔵品展 [指定管理] | 向井潤吉作品にかかわる作品展を年2回実施する。 | 8,100人 | 4月1日～ 9月6日 | 向井潤吉アトリエ館 | |
| | 第Ⅰ期 向井潤吉の滞欧体験——若き研鑽の日々、そして民家へ | | 10月1日～ 2027年 3月14日 | | |
| | 第Ⅱ期 向井潤吉 山と民家 | | | | |

| 事業名 | 個別事業名 | 事業内容 | 計画人数等 | 実施日等 | 実施場所 |
|--------------|-----------------------------------|--|---------|--------------------------|-------------------------------|
| 収蔵品展 | 清川泰次記念ギャラリー収蔵品展 [指定管理] | 清川泰次作品にかかわる作品展を年2回実施する。 第Ⅰ期 清川泰次 アトリエの記憶 | 2,420人 | 4月1日～ 9月6日 | 清川泰次記念 ギャラリー |
| | | 第Ⅱ期 清川泰次 傑作展 | | 10月1日～ 2027年 2月28日 | |
| | 宮本三郎記念美術館収蔵品展 [指定管理] | 宮本三郎作品にかかわる作品展を年2回実施する。 第Ⅰ期 宮本三郎 水辺をめぐって | 3,600人 | 4月1日～ 9月6日 | 宮本三郎記念美 術館 |
| | | 第Ⅱ期 宮本三郎 神話の世界を描く | | 10月1日～ 2027年 3月14日 | |
| 資料収集・管理 | 資料収集 [指定管理] | 貴重な美術作品及び美術に関する資料を、世田谷区民の文化的財産として蓄積していくため、区と共に収集委員会条例に基づき、収集する。現在、作品の購入はないが、作家本人や区民から寄贈の申し出があり、収集する機会が生ずる。これらの機会を的確にとらえ調査を行い、収集委員会への提案に結び付けていく。 | — | 通年 | 世田谷美術館及 び分館 |
| | 作品保管整理 [指定管理] ・収蔵品管理システムの運用 | 収蔵品を保管・整理し、いつでも展示・公開できるように作品のコンディションを良い状態に保つ。問題が生じた作品は修復や額装改善などの処置を施す。作品のデータについては収蔵品管理システムを活用し、一括管理する。また、収蔵品の公開の機会を増やすため、貸付要領に基づき作品の貸出を行う。 | — | 通年 | 世田谷美術館及 び分館 |
| アートライブラリーの運営 | アートライブラリーの運営 [指定管理] | 世田谷美術館が所蔵している美術専門書の閲覧や視聴覚資料(DVD)の視聴、またレファレンスサービス等による情報提供を行う。 | 12,000人 | 通年 | 世田谷美術館 |
| ワークショップ・講座 | 講座・ワークショップ | 美術と創造の普及を目的とした各種講座、企画展に関連した講座、子どもから大人まで幅広い年齢層を対象とした単独開催形式の講座を開催する。どなたでも気軽に参加できる100円ワークショップ、実技の体験を目的とした講座や小中学生を対象にした実技と講義で美術を学ぶ講座を開催する。また、ウェブサイト及び公式Youtubeからの動画配信など様々な普及活動を行う。 | 1,545人 | 通年 | 世田谷美術館及 び分館、創作室オ ンラインほか |

| 事業名 | 個別事業名 | 事業内容 | 計画人数等 | 実施日等 | 実施場所 |
|--------------|---------------------------|--|---|------|--------------------------|
| ワークショップ・講座 | 美術大学 | 講義・実技を組み合わせた半年間の本科を、定員60名で開催。その他、ホームページからの動画配信などを通じての通信講座を引き続き開催する。また修了者を対象としたステップアップ講座も開催する。 | 460人 | 通年 | 世田谷美術館 オンラインほか |
| | 【パフォーマンス】 プロムナード・コンサート | 美術館を音楽による交流の場とするとともに、若手音楽家の育成を図ることを目的に、実力ある若手を中心とする音楽家によるリサイタル形式のコンサートを行う。 | 280人 | 年2回 | 世田谷美術館 |
| | パフォーマンス等イベント | 当館の建築空間や、普及活動の取組みを活かしたイベントやアーティストの創造支援等を実施する。 | 190人 | 通年 | 世田谷美術館 オンライン |
| 子どもと学校プログラム | 美術鑑賞教室(区立小・中学生対象) | 世田谷区教育委員会との連携により、世田谷区立の小学校4年生の児童、中学校の生徒を対象に、展覧会及び美術館内の施設見学を実施する。またそのための出張授業の実施や、ガイドブック等の作成を行う。 | 17,300人 (全90校) | 通年 | 世田谷美術館 区立小中学校 |
| | 教育関係施設の団体受入 | 保育園やフリースクールなどを含む、教育関係施設の団体を受入れ、来館プログラムを実施する。 | 800人 | 通年 | 世田谷美術館 |
| 人材育成プログラム | 学校との連携 | 学芸員後継者育成と美術館諸活動の普及のために、「博物館学芸員資格課程」における「博物館実習」の講義、実技、実習を行う。(約11日間) 東京学芸大学と連携してインターン生を育成し、美術鑑賞教室で来館する区立小学校4年生への事前(若しくは事後の)出張授業を実施(小学校希望校約30校を予定)。また、ジュニア向けの作品マップを配布する。 | 実習生 20人 インターン生 10人 マップ 配布数 9,990人 | 通年 | 世田谷美術館 区立小中学校 大学ほか |
| アクセシビリティ向上事業 | アクセシビリティ向上事業 | 展覧会に関連した講演会において、より良い理解を目的として、手話通訳を手配し、配置する。 | 8人 | 通年 | 世田谷美術館 |
| | ミュージアム・セッション | 教育施設等と連携し、研究会等を実施する。また、ハンディキャップのある方の来館を支援する企画や取組みを行う。 | 300人 | 通年 | 世田谷美術館 オンライン |

| 事業名 | 個別事業名 | 事業内容 | 計画人数等 | 実施日等 | 実施場所 |
|----------------|----------------------------|---|---------|--------------------------|-----------------|
| 区民の表現の場の提供 | 世田谷区民展 | 世田谷区在住、在勤、在学者、又は当館ボランティア、友の会会員や世田谷区を拠点にして制作をされている方、さらに群馬県・川場村在住・在勤・在学者を対象に、作品の募集を行い、区民ギャラリーにて展示する。 | 250人 | 10月～ 2027年3月 | 世田谷美術館 |
| | 【区民ギャラリー等の貸出】 [指定管理] | 世田谷美術館及び清川泰次記念ギャラリーにおいて、創作活動発表の場として区民ギャラリー及び講堂の貸出を行う。 | | | |
| | 美術館(本館)区民ギャラリー | 創作活動発表の場として、世田谷美術館の区民ギャラリーA・B貸出を行う。 | 75,000人 | 通年 | 世田谷美術館 |
| | 清川泰次記念ギャラリー区民ギャラリー | 創作活動発表の場として、清川泰次記念ギャラリーの区民ギャラリー貸出を行う。 | 4,000人 | 通年 | 清川泰次記念 ギャラリー |
| | 美術館(本館)講堂 | 文化・芸術に関する活動・発表の場として、美術館活動に支障のない範囲で世田谷美術館の講堂貸出を行う。 | 1,300人 | 通年 | 世田谷美術館 |
| 地域活性のための文化芸術事業 | ボランティア活動 | 世田谷区立小学校美術鑑賞教室及び出張授業、中学校美術鑑賞教室、川場小学校出張授業、ミュージアム・ツアー、ワークショップ、イベント等の支援を行う。 | 455人 | 通年 | 世田谷美術館ほか |
| | さくら祭 | 砧公園のお花見客への当館のPRを目的とする。エントランス広場でのミニワークショップ、パフォーマンス、フリーマーケットなどを実施する。 | 6,000人 | 2027年3月 27日、28日 | 世田谷美術館 |
| | 石川県小松市との共催事業 | 第9回宮本三郎記念デッサン大賞展 明日の表現を拓く(東京巡回展)の作品募集年。 | — | — | — |
| 美術館広報 | 美術館広報 | 当館ウェブサイトや各種公式SNS、印刷物のほか、各種メディアへの情報提供を通じて、館の活動や事業予定・内容等について広く区民等へ発信する。 | — | 通年 | — |
| | ニュースレター(美術館だより、友の会だより)等の発行 | 世田谷美術館友の会や世田谷美術館の事業の近況・予定をお知らせするニュースレターを年3回(6月・10月・2027年2月)に各1,500部(友の会発行分を合わせると各3,000部)発行する。2027年度の分館の予定等に関する印刷物を30,000部程度発行する(2027年3月)。 | 34,500部 | 6月、10月 2027年 2月、3月 | — |

| 事業名 | 個別事業名 | 事業内容 | 計画人数等 | 実施日等 | 実施場所 |
|-------|---|---|-----------------------------|--------------------------|--------|
| 企画展事業 | シーズン展示 本が世界、世界が本 — 松岡正剛 千夜千冊の贈りもの — | あらゆる事象を独自の視点で読み解く「編集工学」を確立した知の巨人・松岡正剛(1944-2024)。松岡正剛が2000年2月から連載を開始した「千夜千冊」は、1人の著者に1冊というルールで、古今東西の文学、芸術、歴史、思想、宗教、哲学、社会科学、自然科学という多領域から対象となる本をとりあげ、その数1,800冊を超える壮大なスケールのブックナビゲーションとなっている。 本展では「千夜千冊」の中でも特に松岡が力を入れて語った本をとりあげ、多様な本の読み方・本との向き合い方を紹介し、新たな知の冒険をお楽しみいただく機会とする。 | 5,000人 | 4月18日～ 6月14日 | 世田谷文学館 |
| | やなせたかし展 人生はよろこばせごっこ | アンパンマンの生みの親・やなせたかし(1919-2013)の初の大規模展覧会。漫画家、詩人、絵本作家、イラストレーター、デザイナー、編集者など多彩な活動を繰り広げたやなせは、極上のエンターテイナーでもあり、「人を喜ばせること」を人生最大の喜びとしていた。やなせは、苛酷な戦争体験、家族との別れ、様々な人との出会いに揉まれ、「なんのために生まれて、なにをして生きるのか」を自分に問い続けたことにより、自らの信念を体現するヒーロー像に辿り着く。 本展は、2026年にやなせたかし記念館アンパンマンミュージアムが30周年を迎えることを記念し、当館が参画した全国巡回展の東京会場である。原画約200点を中心に、「やなせたかし大解剖」「漫画」「詩」「絵本/やなせメルヘン」「アンパンマン」のテーマで作品を紐解き、私たちに勇気を与え続ける作品の魅力に迫る。 | 30,000人 | 6月30日～ 9月6日 | 世田谷文学館 |
| | ヤマザキマリ展(仮称) | 漫画家・画家として活躍するヤマザキマリは、文筆家としても多くの著作で人気を博している。ヤマザキマリの文章は、現代社会に閉塞感や生きづらさを抱えた人びとに〈自由〉の発見を促し、励まし、一歩前に進む勇気を与えてくれる。 ヤマザキマリは自身を「地球生まれで旅育ち」と語るように、10代でイタリアに渡り、各国への旅を続けている。その中で紡ぎ出されることばには、〈生へのエネルギー〉が満ちあふれている。 本展ではヤマザキマリの漫画家・画家の側面に加え、自らの体験に裏付けられた〈確かなことば〉を展示空間に表現し、同時代を共に生きる私たちが、今、求める〈ことば〉を探す旅のような展覧会を目指す。 | 17,500人 | 10月3日～ 2027年 2月7日 | 世田谷文学館 |
| | 岩井俊二展(仮称) | 現代を代表する映画監督のひとり・岩井俊二。代表作『Love Letter』をはじめ、『スワロウテイル』『リリイ・シュシュのすべて』、そして近年の『キリエのうた』にいたるまで、幻想的な映像美や音楽による独自の世界観、新しい表現手法や主題で、映画界に大きな影響を与え続けている。本展は、多岐にわたる岩井俊二の世界を一堂に展覧する、初めての大型企画展として開催する。膨大な創作資料や衣装、小道具、そして映画セットの一部再現以外にも、はじめは小説家を目指しながらその後美術を学び、映画制作にいたるまでの道のりや、音楽・絵画・小説・作詞など映画以外の仕事や作品についても紹介し、その全貌に迫る。 | 14,500人 (総計: 30,000人) | 2027年 3月6日～ (5月9日) | 世田谷文学館 |

| 事業名 | 個別事業名 | 事業内容 | 計画人数等 | 実施日等 | 実施場所 |
|---------|------------------------------|--|----------|--|--|
| 調査・研究 | 調査・研究 [指定管理] | 文学館活動の基盤となる収蔵コレクション及び世田谷ゆかりの作家・ゆかりの作品の調査・研究を行い、コレクション展や公刊物としてその成果を公表する。2026年度は前年度に引き続き「世田谷文学館収蔵資料〈調査と探究〉04」を刊行する。 | — | 通年 | 世田谷文学館 |
| 収蔵品展 | コレクション展 [指定管理] | 文学館が所蔵する貴重な文学資料を核にしなが、世田谷を舞台にした文学作品とゆかりの文学者たちの、創作と人生のエピソードを紹介し、広く区民に地域の文化と歴史に親しむ機会を提供する。 前期:没後30年 宇野千代展 一恋と創作の若き日々— 後期:没後30年 宇野千代展 一わたしと生きて行く私—(仮)を予定。 | 15,000人 | 前期 4月18日～ 9月6日 後期 9月26日～ 2027年 3月28日 | 世田谷文学館 |
| 資料収集・管理 | 資料収集・管理 [指定管理] | 世田谷ゆかりの作家や区民等からの寄贈・寄託により、文学資料等の収集を行う。世田谷区が所有している作品を系統的に整理するとともに、良好な状態で保存・展示するため保管管理し、計画的に調査を進める。保管環境の維持・向上のため、展示室・収蔵庫及び周辺部の環境確認のための環境調査のモニタリングを年間を通じて実施する。災害等緊急時のコレクション保護のための環境整備を行う。また、収蔵資料を広く活用するため、貸付要領に基づき、コレクションの貸付を行う。 | — | 通年 | 世田谷文学館 |
| OAシステム | OAシステムの運用 [指定管理] | 収蔵品管理システムの円滑な運用をはかり、所蔵資料の適切な情報管理を行う。また、新規に収集した資料や調査結果などのデータ入力(Adobeを使った画像修正含む)をあわせて行う。区民等が直接来館しなくても所蔵資料を閲覧・活用できるよう、所蔵資料のインターネット公開業務を計画的に行う。また、特定備品資料にICタグ管理システムを導入し、収蔵資料の状態把握の客観性を高めることで、館の基幹である資料の適正な管理を行う。 | — | 通年 | 世田谷文学館 |
| 地域連携事業 | どこでも文学館 ・出張展示 ・ワークショップ | 「いつでも、どこでも、だれでも参加できる博物館」というコンセプトのもと、地域と連携したワークショッププログラムの開発を進める。子ども向け事業に限らず、世代間交流イベント等を実施し、幅広い年齢層の利用者獲得を図る。また、学校や地域と連携した写真展や作家紹介を含む文学作品紹介パネル等による出張展示及び出張ワークショップを継続的に実施する。あわせて、出張展示キットの全国への貸し出しを行う。(区内32、川場村2、全国14、延べ48会場程度予定) | 100,000人 | 通年 | 世田谷文学館、区内小中学校、図書館、区民センター、まちづくりセンター、せたがやイーグレットホール、川場村など |
| | 幼保連携事業 [区受託] | 世田谷区教育委員会の「世田谷区幼児教育・保育推進ビジョン」の基本方針の一つである「文化・芸術とふれあうための各園等における環境づくり支援」の一環として、乳幼児を対象とした文化・芸術体験のアウトリーチ事業と連携するため、世田谷文学館が制作した出張展示用パネルセットの展示を、当委員会から委託を受け実施する。 | 200人 | 通年 | 区内幼稚園・保育園など |

| 事業名 | 個別事業名 | 事業内容 | 計画人数等 | 実施日等 | 実施場所 |
|---------------------|---|---|-----------------|-------|-----------------|
| 講演会等 事業 | 企画展・コレクション展、ライブラリー関連講演会、上映会、コンサート等事業 | 企画展・コレクション展やライブラリー事業と連動したトークイベント、講座、コンサート、上映会、ワークショップなどを、乳幼児を含めた全世代に向けて実施する。幅広い層に文学館の様々な楽しみ方を提案するため、オンラインイベントも継続で実施し、新規の利用者の参加にもつなげる。 | 1,000人 | 通年 | 世田谷文学館 オンライン |
| | セタブンマーケット | 広く区民が参加できる大型事業「セタブンマーケット」を開催する。文学館ゆかりの作家・アーティストの出店やイベント、ワークショップなども実施する。 | 2,000人 | 11月 | 世田谷文学館 |
| | 地域のまつり等との連携 | 地域催事(下町まつり、蘆花まつり等)と連携した催事を行う。 | 500人 | 10月 | 世田谷文学館 ほか |
| 活動支援・共 催事業 | 市民活動支援など | 文学活動を中心とする区内外の団体の講座や活動を支援し、区民の生涯学習の要望に応える。 | 500人 | 通年 | 世田谷文学館 ほか |
| 人材育成 プログラム | 学芸員実習 | 学芸員後継者育成のために、学芸員資格取得講座のある大学からの依頼を受け博物館学実習の講義・実習を行う。(6日間) | 5人以内 | 7月～9月 | 世田谷文学館 |
| | 職場体験などの受入 | 博物館の仕事全般を学び、事業の企画や実施にも直接携わることができるプログラムなど、中学校などの要望に応じて、職場体験を受け入れる。 | 30人 | 通年 | 世田谷文学館 |
| 37 ライブラリー の運営 | ライブラリー「ほんとう」の運営 [指定管理] | 授乳室とキッズスペースを備えた子どものための本のエリアや、展覧会やイベントに関連した特集コーナーなどを設け、書物との新たな出会いと多様な楽しみ方を提案、来館者を意識した「地域のための図書空間」を企画・運営する。また、資料閲覧スペース(3階)において閉架図書の閲覧サービスを行う。 | 15,000人 | 通年 | 世田谷文学館 |
| 区民の表現 の場の提供 | 新世田谷文学賞 | 長らく区民より幅広く文芸作品を募集し創作活動を支えてきた「世田谷文学賞」をニーズと時代性に即して刷新し、2025年度の開館30周年に合わせて再開した「新世田谷文学賞」を実施する。小説・エッセイの散文(長文)部門と、詩・短歌・俳句の短詩部門を交互に開催。入賞作品は当館HP上で発表する。 | 50人 | 10月 | 世田谷文学館 |
| 文学館広報 | 文学館広報 | 駅貼り広告や印刷物のほか、ホームページやSNSなどのソーシャルメディアを駆使した広報活動を継続するとともに、マスコミ等の媒体への情報提供を通じて、館の活動内容について広く区民等へ発信する。 | — | 通年 | — |
| | ホームページコンテンツ制作 「ほんとうラジオ」放送 「年報」の発行 「セタブンパス」事業 | ホームページでの動画配信や音声コンテンツ、広報番組制作など、利用者の利便性向上に向けた取組みを継続する。 文学館概要を動画コンテンツで紹介したり、区民の創作活動を支援する「新世田谷文学賞」の受賞作品の公開を行うなど、ホームページを積極的に活用していく。また、文学館ゆかりのゲストを招いたトーク番組「ほんとうラジオ」の放送(特番仕様)を実施するほか、利用者サービスの充実を目的とする「セタブンパス」事業を継続する。 年度実績や資料調査報告をまとめた「年報」を発行する。 | 放送4回 10,000部 | 通年 | — |

| 事業名 | 個別事業名 | 事業内容 | 計画人数等 | 実施日等 | 実施場所 |
|-------------------|------------|--|---|------|------|
| 38 来館者 サポート | 来館者サポート | <p>様々な状況にあるお客様の参加機会を増やすために、公演などにおいて来館者サポートを行う。</p> <p>生活工房</p> <ul style="list-style-type: none"> ①車椅子の貸出 ②手話通訳の配置(随時) ③視覚・聴覚障害者等と共に映像を鑑賞するワークショップの実施・記録音声の公開 ④授乳室の利用など | — | 通年 | — |
| | | <p>世田谷パブリックシアター</p> <ul style="list-style-type: none"> ①託児サービス ②車椅子サービス(貸出、スペースの確保、車椅子昇降機など) ③視覚障害者のための舞台説明会(特定の主催公演) ④視覚障害者のための音声ガイド(特定の主催公演) ⑤視覚障害者のための触る舞台美術模型(特定の主催公演) ⑥補助犬を伴っての観劇(スペースの確保など) ⑦聞こえにくい方向けのヒアリングサポートシステム(特定の主催公演) ⑧聴覚障害者のための字幕(特定の主催公演) ⑨聴覚障害者のための上演台本貸出 ⑩聴覚障害者のための手話通訳者派遣(特定の主催公演) ⑪聴覚障害者のための筆談具設置 ⑫多言語情報発信 ⑬非常時の避難方法及び広域避難場所への地図の配布など | | | |
| | | <p>美術館</p> <ul style="list-style-type: none"> ①講演会での手話通訳 ②車椅子の貸出 ③ベビーカーの貸出 ④授乳室の利用など | | | |
| | | <p>文学館</p> <ul style="list-style-type: none"> ①車椅子の貸出 ②ベビーカーの貸出 ③授乳室の利用 | | | |
| | せたがやアーツカード | <p>世田谷区民を対象とする会員制度。主に、財団主催の公演チケットの割引・先行発売や展覧会チケットの割引などの特典により、財団事業や施設利用者の拡大を図る。毎月1回、希望する会員にはメールマガジン配信による情報提供を行う。現会員証の有効期限(2027年3月末)に合わせ、会員資格の確認も兼ね、一斉更新を実施する。</p> | <p>会員数 23,500人 配信者数 17,000人</p> | 通年 | — |

| 事業名 | 個別事業名 | 事業内容 | 計画人数等 | 実施日等 | 実施場所 |
|----------------|--------------------------------|---|----------------|------|---------------|
| 財団広報 | 財団広報 | 財団ホームページ等により、財団及び事業内容などを紹介する。 | — | 通年 | — |
| | せたがや文化・スポーツ情報ガイドの発行 | 財団各部の事業内容などを広く区民等に周知するため、(公財)世田谷区スポーツ振興財団と共同で毎月25日にタブロイド判の情報紙(4ページ)を発行。区報に同冊し区内施設での配架のほか、新聞(6紙)折込配布も実施する。 | 毎月 165,900部 | 通年 | — |
| 文化芸術の拠点施設の管理運営 | 世田谷文化生活情報センターの施設維持管理 [指定管理] | 世田谷文化生活情報センター施設維持管理、主劇場、小劇場、生活工房セミナールーム、ワークショップルーム等の貸出を行う。 *2026年度は主劇場については改修工事のため休館 | — | 通年 | 世田谷文化生活情報センター |
| | 世田谷美術館及び分館の施設維持管理 [指定管理] | 世田谷美術館及び3分館(向井潤吉アトリエ館、清川泰次記念ギャラリー、宮本三郎記念美術館)の施設維持管理、区民ギャラリー及び講堂の貸出を行う。 | — | 通年 | 世田谷美術館及び分館 |
| | 世田谷文学館の施設維持管理 [指定管理] | 世田谷文学館の施設維持管理、講義室の貸出を行う。 | — | 通年 | 世田谷文学館 |
| 物品販売事業 | 生活工房事業関連商品の販売 | 事業に関連するグッズ、制作物等の販売を行う。 | — | 適宜 | 世田谷文化生活情報センター |
| | パブリックシアター関連商品の販売 | 世田谷パブリックシアターとシアタートラムで上演された公演のパンフレットや映像化したDVDなどの関連商品、劇場オリジナルグッズなどを劇場やオンラインショップにて販売する。 | — | 通年 | 世田谷文化生活情報センター |
| | 美術館ミュージアムショップの運営 | 美術館・分館のミュージアムショップを運営する。収蔵作品をモチーフとしたオリジナルグッズ・絵葉書等の開発・制作及び販売、また企画展開催時における関連グッズ・絵葉書・書籍等の販売を行う。 | — | 通年 | 世田谷美術館及び分館 |
| | 文学館ミュージアムショップの運営 | ミュージアムショップを運営する。オリジナルグッズの開発・制作及び販売、展覧会に関連した書籍や絵葉書等のグッズの販売を行う。 | — | 通年 | 世田谷文学館 |
| 飲食物提供事業 | パブリックシアターのロビーカフェの運営 | 世田谷パブリックシアターのロビーのカフェを委託により運営する。 *2026年度は主劇場改修工事のため休館。 | — | — | 世田谷文化生活情報センター |
| | 美術館のレストランの運営 | 世田谷美術館内のレストラン「ル・ジャルダン」を委託により運営する。 | 20,000人 | 通年 | 世田谷美術館 |
| | 美術館のカフェの運営 | 世田谷美術館内のカフェ「セタピカフェ」を委託により運営する。 | 30,000人 | 通年 | 世田谷美術館 |

収支予算書

1. 収支予算(損益計算書ベース)

(令和8年4月1日から令和9年3月31日まで)

(単位:円)

| 科 目 | 令和8年度a | 令和7年度b | 増減a-b |
|------------|---------------|---------------|---------------|
| I 一般正味財産の部 | | | |
| 1 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| 基本財産運用益 | 4,001,000 | 2,509,000 | 1,492,000 |
| 基本財産運用益 | 4,001,000 | 2,509,000 | 1,492,000 |
| 特定資産運用益 | 1,272,000 | 1,261,000 | 11,000 |
| 特定資産運用益 | 1,272,000 | 1,261,000 | 11,000 |
| 事業収益 | 1,554,611,000 | 1,889,210,000 | △ 334,599,000 |
| 事業運営収益 | 643,279,000 | 1,075,511,000 | △ 432,232,000 |
| 区事業等受託収益 | 911,332,000 | 813,699,000 | 97,633,000 |
| 受取区補助金 | 1,669,843,000 | 1,480,743,000 | 189,100,000 |
| 受取区補助金 | 1,669,843,000 | 1,480,743,000 | 189,100,000 |
| 受取助成金等 | 182,936,000 | 194,658,000 | △ 11,722,000 |
| 受取助成金等 | 182,936,000 | 194,658,000 | △ 11,722,000 |
| 受取寄附金等 | 925,000 | 850,000 | 75,000 |
| 受取寄附金等 | 925,000 | 850,000 | 75,000 |
| 受取負担金 | 14,027,000 | 15,098,000 | △ 1,071,000 |
| 受取負担金 | 14,027,000 | 15,098,000 | △ 1,071,000 |
| 雑収益 | 895,000 | 147,000 | 748,000 |
| 受取利息 | 895,000 | 147,000 | 748,000 |
| 経常収益計 | 3,428,510,000 | 3,584,476,000 | △ 155,966,000 |
| (2) 経常費用 | | | |
| 事業費 | 3,320,768,000 | 3,504,117,000 | △ 183,349,000 |
| 給料手当等 | 945,268,000 | 907,186,000 | 38,082,000 |
| 退職給付費用 | 29,480,000 | 32,156,000 | △ 2,676,000 |
| 交際費 | 387,000 | 407,000 | △ 20,000 |
| 式典費 | 1,223,000 | 1,044,000 | 179,000 |
| 会議費 | 815,000 | 884,000 | △ 69,000 |
| 旅費交通費 | 31,179,000 | 34,103,000 | △ 2,924,000 |
| 通信運搬費 | 20,937,000 | 16,580,000 | 4,357,000 |
| 消耗経費 | 37,716,000 | 34,542,000 | 3,174,000 |
| 印刷製本費 | 77,467,000 | 68,822,000 | 8,645,000 |
| 保険料 | 5,567,000 | 6,043,000 | △ 476,000 |
| 修繕費 | 53,032,000 | 30,555,000 | 22,477,000 |
| 光熱水費 | 13,167,000 | 12,967,000 | 200,000 |
| 諸謝金 | 58,630,000 | 57,752,000 | 878,000 |
| 支払負担金 | 30,694,000 | 66,977,000 | △ 36,283,000 |
| 委託費 | 1,069,713,000 | 965,652,000 | 104,061,000 |
| 使用料及び賃借料 | 66,445,000 | 62,517,000 | 3,928,000 |
| 支払手数料 | 20,258,000 | 39,942,000 | △ 19,684,000 |
| 広報宣伝費 | 96,006,000 | 97,472,000 | △ 1,466,000 |
| 臨時雇賃金 | 109,157,000 | 103,799,000 | 5,358,000 |
| 上演出演料 | 339,686,000 | 537,381,000 | △ 197,695,000 |
| 舞台費 | 191,274,000 | 289,154,000 | △ 97,880,000 |
| 制作企画費 | 62,879,000 | 68,276,000 | △ 5,397,000 |
| 減価償却費 | 41,260,000 | 48,826,000 | △ 7,566,000 |
| 商品仕入 | 17,780,000 | 20,150,000 | △ 2,370,000 |
| 租税公課 | 748,000 | 930,000 | △ 182,000 |

(単位:円)

| 科 目 | | 令和8年度a | 令和7年度b | 増減a-b |
|-----|-------------------|---------------|---------------|---------------|
| | 管理費 | 159,006,000 | 154,365,000 | 4,641,000 |
| | 報酬 | 5,340,000 | 5,283,000 | 57,000 |
| | 給料手当等 | 68,685,000 | 77,036,000 | △ 8,351,000 |
| | 退職給付費用 | 2,854,000 | 3,132,000 | △ 278,000 |
| | 交際費 | 40,000 | 40,000 | 0 |
| | 旅費交通費 | 350,000 | 260,000 | 90,000 |
| | 通信運搬費 | 231,000 | 241,000 | △ 10,000 |
| | 消耗経費 | 159,000 | 338,000 | △ 179,000 |
| | 印刷製本費 | 360,000 | 348,000 | 12,000 |
| | 保険料 | 724,000 | 411,000 | 313,000 |
| | 諸謝金 | 5,320,000 | 320,000 | 5,000,000 |
| | 支払負担金 | 144,000 | 142,000 | 2,000 |
| | 委託費 | 21,351,000 | 21,923,000 | △ 572,000 |
| | 使用料及び賃借料 | 8,747,000 | 9,273,000 | △ 526,000 |
| | 支払手数料 | 378,000 | 380,000 | △ 2,000 |
| | 臨時雇賃金 | 8,852,000 | 7,762,000 | 1,090,000 |
| | 減価償却費 | 691,000 | 873,000 | △ 182,000 |
| | 租税公課 | 34,780,000 | 26,603,000 | 8,177,000 |
| | 経常費用計 | 3,479,774,000 | 3,658,482,000 | △ 178,708,000 |
| | 他会計振替前当期一般正味財産増減額 | △ 51,264,000 | △ 74,006,000 | 22,742,000 |
| | 法人税、都民税及び事業税 | 900,120 | 886,577 | 13,543 |
| | 当期一般正味財産増減額 | △ 52,164,120 | △ 74,892,577 | 22,728,457 |
| | 一般正味財産期首残高 | 820,124,136 | 784,837,010 | 35,287,126 |
| | 一般正味財産期末残高 | 767,960,016 | 709,944,433 | 58,015,583 |
| II | 指定正味財産の部 | | | |
| | 当期指定正味財産増減額 | 0 | 0 | 0 |
| | 指定正味財産期首残高 | 810,253,731 | 808,790,978 | 1,462,753 |
| | 指定正味財産期末残高 | 810,253,731 | 808,790,978 | 1,462,753 |
| III | 正味財産期末残高 | 1,578,213,747 | 1,518,735,411 | 59,478,336 |

※ 令和8年度一般正味財産期首残高及び指定正味財産期首残高は、令和6年度期末の実績額と令和7年度の見込額に基づいて算出しているため、本表における令和7年度一般正味財産期末残高及び指定正味財産期末残高とは一致しない。なお、令和8年度一般正味期首残高及び指定正味期首残高を令和7年度予算の一般正味期末残高及び指定正味期末残高とした表は以下のとおり。

| 科 目 | | 令和8年度a | 令和7年度b | 増減a-b |
|-----|-------------|--------------|--------------|--------------|
| | 当期一般正味財産増減額 | △ 52,164,120 | △ 74,892,577 | 22,728,457 |
| | 一般正味財産期首残高 | 709,944,433 | 784,837,010 | △ 74,892,577 |
| | 一般正味財産期末残高 | 657,780,313 | 709,944,433 | △ 52,164,120 |
| | 当期指定正味財産増減額 | 0 | 0 | 0 |
| | 指定正味財産期首残高 | 808,790,978 | 808,790,978 | 0 |
| | 指定正味財産期末残高 | 808,790,978 | 808,790,978 | 0 |

2. 収支予算内訳表(損益計算書ベース)

(令和8年4月1日から令和9年3月31日まで)

| 科 目 | | 公益目的事業会計 | | |
|------------|----------|---|---------------------------|---------------|
| | | 公1 | 公2 | 小計 |
| | | 文化芸術の振興、地域 文化創造活動の支援 及び 教育普及に関する事業 | 市民活動の支援 及び 振興に関する事業 | |
| I 一般正味財産の部 | | | | |
| 1 経常増減の部 | | | | |
| (1) 経常収益 | | | | |
| | 基本財産運用益 | 0 | 0 | 0 |
| | 基本財産運用益 | 0 | 0 | 0 |
| | 基本財産運用益 | 0 | 0 | 0 |
| | 特定資産運用益 | 0 | 0 | 0 |
| | 特定資産運用益 | 0 | 0 | 0 |
| | 特定資産運用益 | 0 | 0 | 0 |
| | 事業収益 | 1,506,052,000 | 647,000 | 1,506,699,000 |
| | 事業運営収益 | 594,920,000 | 447,000 | 595,367,000 |
| | 事業運営収益 | 594,920,000 | 447,000 | 595,367,000 |
| | 区事業等受託収益 | 911,132,000 | 200,000 | 911,332,000 |
| | 指定管理受託収益 | 834,588,000 | 0 | 834,588,000 |
| | 区事業受託収益 | 76,544,000 | 200,000 | 76,744,000 |
| | 受取区補助金 | 1,480,125,000 | 43,977,000 | 1,524,102,000 |
| | 受取区補助金 | 1,480,125,000 | 43,977,000 | 1,524,102,000 |
| | 受取区補助金 | 1,480,125,000 | 43,977,000 | 1,524,102,000 |
| | 受取助成金等 | 181,647,000 | 1,289,000 | 182,936,000 |
| | 受取助成金等 | 181,647,000 | 1,289,000 | 182,936,000 |
| | 受取助成金 | 181,647,000 | 1,289,000 | 182,936,000 |
| | 受取寄附金等 | 925,000 | 0 | 925,000 |
| | 受取寄附金等 | 925,000 | 0 | 925,000 |
| | 受取寄附金 | 925,000 | 0 | 925,000 |
| | 受取負担金 | 6,191,000 | 0 | 6,191,000 |
| | 受取負担金 | 6,191,000 | 0 | 6,191,000 |
| | 受取負担金 | 6,191,000 | 0 | 6,191,000 |
| | 雑収益 | 0 | 0 | 0 |
| | 受取利息 | 0 | 0 | 0 |
| | 受取利息 | 0 | 0 | 0 |
| | 経常収益計 | 3,174,940,000 | 45,913,000 | 3,220,853,000 |

(単位:円)

| 収益事業等会計 | | | 法人会計 | 内部取引等 消去 | 合計 |
|------------|------------|------------|-------------|-------------|---------------|
| 収1 | 収2 | 小計 | | | |
| 物品販売事業 | 飲食物提供事業 | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 0 | 0 | 0 | 4,001,000 | | 4,001,000 |
| 0 | 0 | 0 | 4,001,000 | | 4,001,000 |
| 0 | 0 | 0 | 4,001,000 | | 4,001,000 |
| 0 | 0 | 0 | 1,272,000 | | 1,272,000 |
| 0 | 0 | 0 | 1,272,000 | | 1,272,000 |
| 0 | 0 | 0 | 1,272,000 | | 1,272,000 |
| 44,785,000 | 3,127,000 | 47,912,000 | 0 | | 1,554,611,000 |
| 44,785,000 | 3,127,000 | 47,912,000 | 0 | | 643,279,000 |
| 44,785,000 | 3,127,000 | 47,912,000 | 0 | | 643,279,000 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | | 911,332,000 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | | 834,588,000 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | | 76,744,000 |
| 0 | 0 | 0 | 145,741,000 | | 1,669,843,000 |
| 0 | 0 | 0 | 145,741,000 | | 1,669,843,000 |
| 0 | 0 | 0 | 145,741,000 | | 1,669,843,000 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | | 182,936,000 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | | 182,936,000 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | | 182,936,000 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | | 925,000 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | | 925,000 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | | 925,000 |
| 336,000 | 7,500,000 | 7,836,000 | 0 | | 14,027,000 |
| 336,000 | 7,500,000 | 7,836,000 | 0 | | 14,027,000 |
| 336,000 | 7,500,000 | 7,836,000 | 0 | | 14,027,000 |
| 0 | 0 | 0 | 895,000 | | 895,000 |
| 0 | 0 | 0 | 895,000 | | 895,000 |
| 0 | 0 | 0 | 895,000 | | 895,000 |
| 45,121,000 | 10,627,000 | 55,748,000 | 151,909,000 | | 3,428,510,000 |

| 科 目 | 公益目的事業会計 | | |
|----------|---|---------------------------|---------------|
| | 公1 | 公2 | 小計 |
| | 文化芸術の振興、地域 文化創造活動の支援 及び 教育普及に関する事業 | 市民活動の支援 及び 振興に関する事業 | |
| (2) 経常費用 | | | |
| 事業費 | 3,221,566,000 | 46,953,000 | 3,268,519,000 |
| 給料手当等 | 909,397,000 | 34,392,000 | 943,789,000 |
| 退職給付費用 | 28,415,000 | 1,028,000 | 29,443,000 |
| 交際費 | 377,000 | 10,000 | 387,000 |
| 式典費 | 1,223,000 | 0 | 1,223,000 |
| 会議費 | 785,000 | 30,000 | 815,000 |
| 旅費交通費 | 31,139,000 | 40,000 | 31,179,000 |
| 通信運搬費 | 19,116,000 | 150,000 | 19,266,000 |
| 消耗経費 | 35,296,000 | 1,256,000 | 36,552,000 |
| 印刷製本費 | 76,631,000 | 436,000 | 77,067,000 |
| 保険料 | 5,486,000 | 81,000 | 5,567,000 |
| 修繕費 | 53,032,000 | 0 | 53,032,000 |
| 光熱水費 | 5,100,000 | 0 | 5,100,000 |
| 諸謝金 | 57,983,000 | 647,000 | 58,630,000 |
| 支払負担金 | 30,483,000 | 211,000 | 30,694,000 |
| 委託費 | 1,047,226,000 | 4,619,000 | 1,051,845,000 |
| 使用料及び賃借料 | 65,292,000 | 521,000 | 65,813,000 |
| 支払手数料 | 17,535,000 | 7,000 | 17,542,000 |
| 広報宣伝費 | 95,377,000 | 629,000 | 96,006,000 |
| 臨時雇賃金 | 106,308,000 | 2,849,000 | 109,157,000 |
| 上演出演料 | 339,686,000 | 0 | 339,686,000 |
| 舞台費 | 191,274,000 | 0 | 191,274,000 |
| 制作企画費 | 62,879,000 | 0 | 62,879,000 |
| 減価償却費 | 40,781,000 | 47,000 | 40,828,000 |
| 商品仕入 | 0 | 0 | 0 |
| 租税公課 | 745,000 | 0 | 745,000 |

| 科 目 | | 公益目的事業会計 | | |
|-------------------|----------|---|---------------------------|---------------|
| | | 公1 | 公2 | 小計 |
| | | 文化芸術の振興、地域 文化創造活動の支援 及び 教育普及に関する事業 | 市民活動の支援 及び 振興に関する事業 | |
| 管理費 | | | | |
| | 報酬 | | | |
| | 給料手当等 | | | |
| | 退職給付費用 | | | |
| | 交際費 | | | |
| | 旅費交通費 | | | |
| | 通信運搬費 | | | |
| | 消耗経費 | | | |
| | 印刷製本費 | | | |
| | 保険料 | | | |
| | 諸謝金 | | | |
| | 支払負担金 | | | |
| | 委託費 | | | |
| | 使用料及び賃借料 | | | |
| | 支払手数料 | | | |
| | 臨時雇賃金 | | | |
| | 減価償却費 | | | |
| | 租税公課 | | | |
| 経常費用計 | | 3,221,566,000 | 46,953,000 | 3,268,519,000 |
| 他会計振替前当期一般正味財産増減額 | | △ 46,626,000 | △ 1,040,000 | △ 47,666,000 |
| 他会計振替額 | | 498,599 | 0 | 498,599 |
| 法人税、都民税及び事業税 | | 0 | 0 | 0 |
| 当期一般正味財産増減額 | | △ 46,127,401 | △ 1,040,000 | △ 47,167,401 |
| 一般正味財産期首残高 | | 634,836,808 | 27,911,876 | 662,748,684 |
| 一般正味財産期末残高 | | 588,709,407 | 26,871,876 | 615,581,283 |
| II 指定正味財産の部 | | | | |
| 当期指定正味財産増減額 | | 0 | 0 | 0 |
| 指定正味財産期首残高 | | 10,253,731 | 0 | 10,253,731 |
| 指定正味財産期末残高 | | 10,253,731 | 0 | 10,253,731 |
| III 正味財産期末残高 | | 598,963,138 | 26,871,876 | 625,835,014 |

(単位:円)

| 収益事業等会計 | | | 法人会計 | 内部取引等 消去 | 合計 |
|-------------|------------|-------------|--------------|-------------|---------------|
| 収1 | 収2 | 小計 | | | |
| 物品販売事業 | 飲食物提供事業 | | | | |
| | | | 159,006,000 | | 159,006,000 |
| | | | 5,340,000 | | 5,340,000 |
| | | | 68,685,000 | | 68,685,000 |
| | | | 2,854,000 | | 2,854,000 |
| | | | 40,000 | | 40,000 |
| | | | 350,000 | | 350,000 |
| | | | 231,000 | | 231,000 |
| | | | 159,000 | | 159,000 |
| | | | 360,000 | | 360,000 |
| | | | 724,000 | | 724,000 |
| | | | 5,320,000 | | 5,320,000 |
| | | | 144,000 | | 144,000 |
| | | | 21,351,000 | | 21,351,000 |
| | | | 8,747,000 | | 8,747,000 |
| | | | 378,000 | | 378,000 |
| | | | 8,852,000 | | 8,852,000 |
| | | | 691,000 | | 691,000 |
| | | | 34,780,000 | | 34,780,000 |
| 43,741,000 | 8,508,000 | 52,249,000 | 159,006,000 | | 3,479,774,000 |
| 1,380,000 | 2,119,000 | 3,499,000 | △ 7,097,000 | | △ 51,264,000 |
| △ 196,647 | △ 301,952 | △ 498,599 | 0 | | 0 |
| 355,006 | 545,114 | 900,120 | 0 | | 900,120 |
| 828,347 | 1,271,934 | 2,100,281 | △ 7,097,000 | | △ 52,164,120 |
| 160,851,720 | 18,428,311 | 179,280,031 | △ 21,904,579 | | 820,124,136 |
| 161,680,067 | 19,700,245 | 181,380,312 | △ 29,001,579 | | 767,960,016 |
| | | | | | |
| 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 |
| 0 | 0 | 0 | 800,000,000 | | 810,253,731 |
| 0 | 0 | 0 | 800,000,000 | | 810,253,731 |
| 161,680,067 | 19,700,245 | 181,380,312 | 770,998,421 | | 1,578,213,747 |

その他の付属書類

資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類

(令和8年4月1日から令和9年3月31日まで)

(1) 資金調達の見込みについて

| 借入の予定 | | あり | ○ | なし |
|-------|-----|----|----|----|
| 事業番号 | 借入先 | 金額 | 用途 | |
| | | | | |

(2) 設備投資の見込みについて

| 設備投資の予定 | | あり | ○ | なし |
|---------|---------|----------------|---------------------|----|
| 事業番号 | 設備投資の内容 | 支出又は収入の 予定額 | 資金調達方法 又は取得資金の用途 | |
| | | | | |

令和8(2026)年3月発行

公益財団法人 せたがや文化財団

〒154-0004

東京都世田谷区太子堂 4-1-1 キャロットタワー5F

TEL 03-5432-1501 FAX 03-5432-1559

MAIL jimukyoku@setagaya-ac.net

URL <https://www.setagaya-bunka.jp>

*この冊子はリサイクルできます

役員名簿(令和6年4月1日～)

【理事：11名・監事2名】

任期：[理事]令和5年6月15日から令和7年度定時評議員会の終結の時まで

[監事]令和5年6月15日から令和9年度定時評議員会の終結の時まで

| 役職名 | 氏名 | 備考 |
|------|--------|----------------------|
| 理事長 | 青柳 正規 | 公益財団法人せたがや文化財団理事長 |
| 常務理事 | 高萩 宏 | 世田谷文化生活情報センター館長 |
| 常務理事 | 橋本 善八 | 世田谷美術館館長 |
| 常務理事 | 亀山 郁夫 | 世田谷文学館館長 |
| 常務理事 | 志賀 毅一 | 公益財団法人せたがや文化財団事務局長 |
| 理事 | 熊谷 吏夏 | 弁護士 |
| 理事 | 桑島 俊彦 | 東京都商店街振興組合連合会理事・最高顧問 |
| 理事 | 鴻巣 友季子 | 文芸評論家、大学講師 |
| 理事 | 武濤 京子 | 昭和音楽大学名誉教授・客員教授 |
| 理事 | 名児耶 明 | 筆の里工房副館長 |
| 理事 | 板東 久美子 | 日本赤十字社常任理事 |
| 監事 | 大澤 正文 | 世田谷区会計管理者 |
| 監事 | 山本 嶋子 | 公認会計士 |